

会 告 目 次

研究発表会開催通知

第 27 回 情報学基礎研究会	2
第 44 回 ヒューマンインタフェース研究会	3
第 84 回 人工知能研究会	4
第 90 回 データベースシステム研究会	5
第 15 回 人文科学とコンピュータ研究会	5
第 79 回 コンピュータビジョン研究会	6
第 91 回 自然言語処理研究会	6
第 68 回 記号処理研究会	7
第 57 回 マルチメディア通信と分散処理研究会	7
第 23 回 コンピュータと教育研究会	9
第 29 回 アルゴリズム研究会	9
第 87 回 ソフトウェア工学研究会	10
研究発表会(後期)開催予定(1992年10月~1993年3月)	13
本会協賛等の行事案内	14
研究会発表申込書	15
奨励賞候補の推薦について	16
第 45 回 全国大会(平成4年後期)概要について	17
第 46 回 全国大会(平成5年前期)の開催について	17
第 45 回 全国大会予約案内	18
情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」特集号への論文投稿のおすすめ	20
第 45 回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について	20
「グラフィクスとCADシンポジウム」開催について	22
「メディアと情報処理」シンポジウム開催について	25
情報処理教育カリキュラムのモニタ募集について	27
有料会告について	28
CALL FOR PAPERS Second International Workshop on Software Reusability	29
支部だより	30
第 2 回「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム開催について	31
会 議 案 内	32
教 官 募 集	34
雑 報	36
編 集 室	37
情報処理学会事務局組織図	38

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成4年8月15日～9月30日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
※ *計算機アーキテクチャ	8月19日(水) 8月20日(木)	8:45～17:45 8:45～10:15	シーサイドホテル フェニックス(宮崎)	前号参照
*オペレーティング・システム	8月19日(水)	8:45～17:45	同 上	同 上
*数 値 解 析	8月20日(木)	9:15～12:30	同 上	同 上
※プ *プログラミン —言語・基礎・実践—	8月20日(木) 8月21日(金)	10:30～18:15 8:45～18:15	同 上	同 上
情 報 学 基 礎	9月8日(火)	10:00～17:00	機 械 振 興 会 館	下記参照
ヒューマンインタフェース	9月10日(木) 9月11日(金)	9:00～16:25 9:00～17:10	北 大	同 上
人 工 知 能	9月10日(木)	9:30～17:00	東 芝(本 社)	同 上
デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	9月11日(金)	9:30～17:20	日 電(本 社)	同 上
人 文 科 学 と コ ン ピ ュ ー タ	9月11日(金)	10:30～17:00	国 立 教 育 研 究 所	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	9月17日(木)	10:00～16:40	山 梨 大	同 上
自 然 言 語 処 理	9月17日(木) 9月18日(金)	13:00～15:50 10:00～15:00	横 浜 国 大	同 上
記 号 処 理	9月22日(火)	10:20～17:00	九 工 大	同 上
マルチメディア通信と分散処理	9月24日(木) 9月25日(金)	9:30～17:00 9:30～17:00	機 械 振 興 会 館	同 上
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	9月25日(金)	9:30～13:40	徳 島 大	同 上
ア ル ゴ リ ズ ム	9月25日(金)	9:30～15:00	福 井 大	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	9月29日(火)	10:30～17:00	早 大	同 上

* 研究会連続・同時開催

※ 開催時間が前号(7月号)と変更になっております。

◆ 第27回 情報学基礎研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 細野公男, 幹事: 石塚英弘, 中川 優, 尹 博道)

日 時 平成4年9月8日(火) 10:00～17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室

(東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車
バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲口線虎の門5丁目下車. Tel. 03 (3434) 8211)

議 題 特集: ゲノム

—10:00～12:00—

- (1) Protein Sequence Analysis using Knowledge 広沢 誠, 星田昌紀, 石川幹人 (ICOT)
- (2) 並列反復改善法によるタンパク質配列のアライメント
星田昌紀, 石川幹人, 広沢 誠, 戸谷智之 (ICOT)
- (3) 演繹推論機能を用いた蛋白質立体構造解析システム PACADE
久原 哲, 佐藤賢二, 古市恵美子, 瀧口今日子 (九大), 高木利久 (東大)

—13:00~17:00—

- (4) 招待講演: アミノ酸配列データの解析 —生物の中での物理学と情報学の結合— 美宅成樹 (農工大)
 (5) ヒトゲノム解析と遺伝情報処理 —タンパク質と核酸の構造・機能予測— 皿井明倫 (理研)
 (6) 組合せ最適化問題としてのタンパク質/RNA 構造予測 秋山 泰, 金 久實 (京大)
 (7) オブジェクト指向データベースを用いた遺伝子データの管理 坂本憲広, 五斗 進 (九大), 高木利久 (東大)
 (8) OHF データから整列クローン・ライブラリを求める方法 陶山 明 (東大)

◆ 第44回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 23件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 廣瀬通孝)

日 時 平成4年9月10日(木) 9:00~16:25
 9月11日(金) 9:00~17:10

会 場 北海道大学 電子科学研究所

〔札幌市北区北12条西6丁目, JR: 札幌下車, 徒歩15分, Tel. 011 (716) 2111〕

議 題

9月10日(木)

—9:00~11:30—

●音声インタフェース

- (1) フレーム間相関を用いた音素 HMM 高橋 敏, 南泰 浩, 松岡達雄, 鹿野清宏 (NTT)
 [概要] 隣接する2つのフレームの音響特徴量の相関を利用した音素 HMM アルゴリズムと実験結果。
 (2) 音声素片ネットワーク最適化による合成素片セットの構成法 岩橋直人, 匂坂芳典 (ATR)
 [概要] 高品質な音声合成される素片セットを, 所望のデータ容量で構成する方法。
 (3) 話者混合 SSS を用いた不特定話者音声認識と話者適応 小坂哲夫, 鷹見淳一, 嵯峨山茂樹 (ATR)
 [概要] 話者混合の逐次状態分割法 (SSS) を用いた不特定話者連続音声認識の評価と話者適応の効果。
 (4) 統計的言語情報を用いた HMM-LR 文章発声音声認識の評価 北 研二, 森元 遼, 大倉計美, 嵯峨山茂樹 (ATR)
 [概要] 単語データに加え連続発声データや統計的言語情報を利用した連続発声の文章認識の評価。

—12:30~16:25—

●福祉特集—高齢者—

- (5) 高齢者向け音声加工を行うポータブル DSP システムの開発 福寝義人, 池田 宏, 熊谷幸夫 (日立)
 [概要] デジタル補聴器等に必要な音声処理をリアルタイムで実行するポータブル音声信号処理装置の開発。
 (6) 高品質リアルタイム話速変換システム 中村 章, 清山信正, 池沢 龍, 都木 徹, 宮坂栄一 (NHK)
 [概要] 老人性難聴向けのリアルタイム話速変換システムの開発。
 (7) 話速変換に伴う時間伸縮を吸収するための一方法 池沢 龍, 中村 章, 清山信正, 都木 徹, 宮坂栄一 (NHK)
 [概要] 高齢者向けのリアルタイム話速変換で生ずる実時間の原音声の時間枠と「ずれ」を吸収する効果的手法。

●福祉特集—福祉機器—

- (8) DSP を用いた蝸牛外刺激型人工内耳 平田恵啓, 伊福部達, 坂尻正次, 泉 隆 (北大), 松島純一 (北大)
 [概要] 重度聴覚障害の補綴装置として開発している聴神経を電気刺激する人工内耳システムの評価。
 (9) 空気圧制御による上肢の装具開発とその利用法 竹田 仰, 大石 仁 (長崎総科大)
 [概要] 空気圧式のゴム筋肉および関節角度検出用エンコーダを用いた制御による人の上肢, 下肢の装着具開発。
 (10) 触覚の質的情報を考慮したタクトイルボコーダの基礎的研究 和田親宗, 伊福部達, 泉 隆 (北大)
 [概要] 従来の振動刺激でなく, 「さらさら」, 「ぬるぬる」などの触感を利用して音声情報を提示する方法。
 (11) 触覚のテレグジステンスを目的とした「きめ」の弁別特性に関する研究 細江文弘, 井野秀一, 清水俊治, 泉 隆, 高橋 誠, 伊福部達 (北大)
 [概要] 触覚で検出すべき情報のひとつである「きめ」に関する検出, 提示法を調べるための人の弁別特性。

9月11日(金)

—9:00~12:05—

●福祉特集—手話—

- (12) 連続 DP 照合を用いた手話通訳システム 佐川浩彦, 酒匂 裕, 阿部正博 (日立)
 [概要] 連続的な手話文を認識するための, 手話のデータグループからの入力と, 連続 DP 照合による認識。
 (13) 口話併用手話における口形の役割に関する考察

笠松 博, 鎌田一雄 (宇都宮大), 田上隆司 (作新学院女子短大)

〔概要〕 口形併用手話において、手指動作の大分類と口形の特徴を用いた音声単語との対応関係の考察。

(14) 日本語手話変換概念辞書の基本設計に関する検討

長嶋祐二, 長嶋秀世 (工学院大), 寺内美奈, 大和玄一 (職業訓練大)

〔概要〕 日本語と手話の相互変換を行うための、人間の動作・思考を中心とした意味分類による概念辞書の構築。

(15) 指認識に関する基礎的検討

長嶋祐二, 小野寺卓, 長嶋秀世 (工学院大), 寺内美奈, 大和玄一 (職業訓練大)

〔概要〕 画像処理による日本語手話認識の一環としての、日本語の一部である指文字の認識。

(16) 光と音に対する指示運動と知覚空間に関する考察

水戸部一孝, 高橋 誠, 加藤充孝, 永井謙芝

泉 隆, 伊福部達, 松島純一 (北大), 山本泰秀 (日産自動車)

〔概要〕 光, 音刺激に対する頭部および眼球運動について、指示運動を加えた場合の知覚空間の考察。

—13: 00~17: 10—

●画像, 映像システム

(17) MANU (Motif Architect for Nonexpert Users): エンドユーザを対象とした GUI 構築ツール

増田英孝 (電機大), 大谷治之, 中岡佐知子, 小塚 宏, 宮崎一哉 (三菱電機)

〔概要〕 ウィンドウプログラマでないユーザにも利用可能な GUI 構築ツールの対話方式。

(18) 略画作成による画像検索システムのインタフェース . 西山晴彦, 櫻場 潔, 横山光男, 松下 温 (慶大)

〔概要〕 人間のあいまいな記憶に基づく略画を作成し、画像を検索するシステム。

(19) 人間の認知特性を利用した画像検索するシステム

尾田政臣 (ATR)

〔概要〕 求めようとする対象のイメージがはっきりしていない場合にも効率的な画像検索が可能なシステム。

(20) 動画編集支援における個人適応化モデルの検討

炭野重雄, 宮武孝文, 上田博唯 (日立)

〔概要〕 ユーザにとって意味のある一連のコマンド操作系列を抽出・短縮することによる個人適応モデル。

●インタラクティブシステム

(21) タスク意図同定による個人適応に関する一考察

岡田和久, 宇山正志, 上田博唯 (パーソナル情報環境協会)

〔概要〕 ユーザ操作をモデル解析して、意図階層を自動生成し、操作意図を同定する個人適応メカニズム。

(22) アプリケーションの状態に依存したガイドを提供する汎用モジュール

森 俊也, 北野幹浩, 経田樹朗 (松下電器)

〔概要〕 ユーザの入力からユーザの習熟度とアプリケーションの状態を推定し、ユーザに適応したガイドを提供。

(23) 無線通信における、マルチキャストを用いた同報応答機構 MACS の設計と実装。

岩沢 透, 矢向高弘, 安西祐一郎 (慶大)

〔概要〕 無線通信を使って協同作業するロボットにおいて、同報送信に対する応答機構の設計と実装。

*今回の研究会は電子情報通信学会 (ヒューマンコミュニケーション研究会, 音声研究会) との共催で開催されます。

◆ 第 84 回 人工知能研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 石塚 満, 幹事: 沼尾正行, 松原 仁, 吉田裕之)

日 時 平成 4 年 9 月 10 日 (木) 9: 30~17: 00

会 場 東芝 本社 39 階

〔東京都港区芝浦 1-1-1, JR: 浜松町下車, 徒歩 3 分 (来場の方は, 22 階の受付で研究会参加の旨を申し出てパッチを受けとってください)。Tel. 03 (3457) 4511〕

議 題

—9: 30~12: 10—

(1) 変数表現と否定条件のための Rete アルゴリズムの拡張

高野 啓 (三菱電機)

〔概要〕 否定条件等の記述において Rete が従来持っていた制約と、その解消方法を提案する。

(2) 極小点追跡法による組合せ最適化問題の一解法

中西邦夫, 阿部重夫 (日立)

〔概要〕 組合せ最適化問題に対して、より最適解に近い解を得る新しい解法を提案する。

(3) 個人の主観の相違を考慮したファジィデータベースの提案

大木直人, 田代秀夫, 亀倉 龍, 横山光男, 松下 温 (慶大)

〔概要〕 ファジィデータベースで、個人で異なる主観的なあいまいさを処理するための手法を提案した。

(4) あいまい性を含んだ訓練事例からの学習

櫻井茂明, 荒木 大 (東芝)

〔概要〕 ファジィ集合として表現された属性で構成された事例からファジィ決定木を学習する方式を提案する。

—13: 10~17: 00—

(5) アナログを用いた着想支援方式

田中一男 (NTT)

〔概要〕 全文データベースから検索した事例文との文構造マッチングによる着想支援方式を提案する。

- (6) インパス事例による矛盾解消法を用いた理論修正 佐々木和雄, 上原邦昭, 前川禎男 (神戸大)
〔概要〕過去の矛盾解消事例との類比によって, 不完全な領域理論を修正するシステムを提案する。
- (7) 仮説の生成と洗練化による理論形成へのアプローチ 松浦 聡, 上原邦昭, 前川禎男 (神戸大)
〔概要〕生成された仮説を一貫性を考慮して選択することによって妥当な理論形成が可能であることを示す。
- (8) GLP の unfolding による論理回路の自動合成 馬淵浩司, 赤間 清, 宮本衛一 (北大)
〔概要〕論理回路を自動的に GLP の理論の unfolding によって合成する手法について述べる。
- (9) 自然言語による仕様記述文解析のための知識の取扱いについて 田中克己 (東芝)
〔概要〕文解析に用いる知識の表現方法・自然言語文との相互作用・利用者とのインタフェースにつき説明する。

◆ 第90回 データベースシステム研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 増永良文, 幹事: 北川博之, 田中克己, 鶴岡邦敏)

日 時 平成4年9月11日(金) 9:30~17:20

会 場 日本電気 本社 241会議室(2階)

〔東京都港区芝 5-7-1, JR: 田町下車, 徒歩5分(1階正面受付で入場手続きを行い指示に従ってご入場ください)。Tel. 03 (3454) 1111〕

議 題 特集: テキスト・ハイパーメディア DB とその周辺

—9:30~12:25—

- (1) 国際的ヒト遺伝子地図データベースとしての GDB
宇津野宏二, 諏訪秀策, 鈴木政彦, 平川美夏 (JICST), 清水信義 (慶大)
〔概要〕国際的ヒトゲノム解析計画で得られる遺伝子地図情報を分散処理 RDBMS により利用者に提供する。
- (2) 分散したデータベースと知識ベースの統合モデル Qiming Chen (カリフォルニア大), 上林彌彦 (京大)
〔概要〕複数のクラス階層があり, 各クラスに対応するデータや知識集合が動的に変えうるモデルを提案する。
- (3) データベース管理システム「沙羅」の機能拡張 石丸知之, 植村俊亮 (農工大)
〔概要〕沙羅のデータモデルを, マルチメディアとスキーマ変更に対応するために強化する。
- (4) ハイパーメディアプラットフォーム“雅(みやび)”の概要

原 良憲, 的場ひろし, 平田恭二, 高野 元 (日電)

杉渕史子, 松浦 宏, 中村克男, 引間 晃 (日本電気技術情報システム)

〔概要〕大規模データに対し, 拡張 E-R モデルに基づくナビゲーション型の編集利用システムの提案を行う。

(5) マルチメディアオーサリングのためのシナリオデータモデル 田中栄市郎, 小川隆一 (日電)

〔概要〕大規模なストーリー主体のハイパーメディアアプリケーション作成を支援する電子化シナリオについて。

—13:25~17:20—

(6) 短単位キーワードに基づくテキストデータベースシステム

小川泰嗣, 別所礼子, 岩崎雅二郎, 西村美苗 (リコー)

〔概要〕全自動キーワード抽出, 複合語部分一致検索, テキストランキングなどの方式を説明する。

(7) フルテキストの構造化に基づく検索システム

岸本行生, 須之内美幸, 塚田康博, 千葉 滋 (シャープ), 石川徹也 (情報大)

〔概要〕フルテキストの内容を属性情報によって構造化して検索するシステムの機能について述べる。

(8) 文意解析に基づく有意味キーワード抽出システム

高橋昭治, 高橋真一 (紀伊国屋書店), 安田直義, 高畑信仁 (日外アソシエーツ), 石川徹也 (情報大)

〔概要〕大規模キーワード辞書利用システムに対し, 有意味なキーワードを抽出するシステム機能の提案を行う。

(9) 統合型大規模テキストデータベースへの自動索引とその評価 木本晴夫 (NTT)

〔概要〕多種類のテキストデータベースを統合した大規模 DB への自動索引とその評価について述べる。

(10) 自動索引システムと情報検索システムの評価用共通データベースの事例 木本晴夫 (NTT)

〔概要〕システム評価方法の問題点と評価用共通 DB 構築の必要性, 並びに米国での事例について述べる。

(11) 自由討議: 自動索引システム評価用ベンチマークテキスト DB

司会: 石川徹也 (情報大)

◆ 第15回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 杉田繁治, 幹事: 及川昭文, 小沢一雅, 洪 政国)

日 時 平成4年9月11日(金) 10:30~17:00

会 場 国立教育研究所 4階 大会議室

〔東京都目黒区下目黒 6-5-22, JR (山手線): 目黒 (西口) 下車, 東急バス (大岡山小学校行): 目黒消防署前 (約15分) 下車, 徒歩5分。Tel. 03 (3714) 0111〕

議 題

—10:30~12:00—

(1) 学術論文 CD-ROM システム 齋藤 雅 (大日本印刷)
〔概要〕 学術論文のフルテキストデータベース化を行い、CD-ROM による論文検索システムを開発した。

(2) 映像データベースにおける情報入力と管理 草場匡宏, 高橋淳一, 洪 政国 (日本 IBM)
〔概要〕 博物館を対象とした映像データベースの開発と映像情報の入力と管理のためのインタフェースの紹介。

—13:30~16:30—

(3) 日本美術シソーラスデータベースの形成について 五十殿利治, 福田博司 (筑波大)
〔概要〕 日本で標準となり得る日本美術シソーラス形成の問題点について報告する。

(4) Hyper Card による音階構造理解のためのソフトウェア開発について
森田信一 (十文字学園女子短大), 小倉隆一郎 (秋草学園短大), 小田淳一 (東京外国語大)
〔概要〕 読譜能力修得の困難を解消するため、音階構造を視覚的に理解できるソフトウェアを開発し試用した。

(5) 日本語教育学習支援システムの機能構成とその操作性について
高木 清 (ノス), 吉岡亮衛, 坂谷内勝 (国立教育研), 及川昭文 (茨城大)
〔概要〕 本システム全体の構成と個々の機能及び操作性について、開発現場の立場からの意見を述べる。

(6) 日本語教育・学習支援システムのテキストデータベースについて 坂谷内勝, 吉岡亮衛 (国立教育研)
〔概要〕 日本語教材のテキストデータベースの構造とその利用方法について述べる。

—16:30~17:00—

(7) デモンストレーション: 日本語教育・学習支援システム (CASTEL/J)

◆ 第79回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 杉原厚吉, 幹事: 井宮 淳, 尺長 健, 長谷川純一)

日 時 平成4年9月17日 (木) 10:00~16:40

会 場 山梨大学 工学部 電子情報工学科 実習室 (旧計算機科学科棟2階)

〔甲府市武田 4-3-11, JR (中央本線): 甲府 (北口) 下車, 徒歩20分. Tel. 0552 (52) 1111 内 5272 (森)〕

議 題

—10:00~12:00—

- (1) 回転方式によるカメラパラメータの算出 深田陽司 (三菱電機)
(2) 最大クリークによる物体の4自由度復元と認識 深田陽司 (三菱電機)
(3) 焦点距離キャリブレーションの統計的信頼性 浦沢康二, 金谷健一 (群馬大)
(4) くりこみ法によるコニック当てはめ 岩崎利夫, 丸山 保, 金谷健一 (群馬大)

—13:10~16:40—

- (5) SNAKE の形状に適応したパラメータの決定 瀬川英吾, 徐 剛, 辻 三郎 (阪大)
(6) 一枚の画像をモデルとした物体認識 西村英二, 徐 剛, 辻 三郎 (阪大)
(7) 2回逆投影法による複数画像からの3次元情報の抽出 川戸慎一郎 (ATR)
(8) 3次元外積展開による動画像処理 志水安起良, 村上 純, 田所嘉昭 (豊橋技科大)
(9) 4つの DSP の並行処理による道路画像処理 山口健一, 森 英雄 (山梨大)
(10) 白線引きロボット 小谷信司, 安富 敏, 金 嘯東, 森 英雄 (山梨大)
鳴原 栄 (ビットエンジニアリング), 松室 豊 (東洋道路施設)
(11) 自律移動ロボット晴信の研究開発について 森 英雄 (山梨大)

*研究会終了後、屋外で森研究室による自律移動ロボット「晴信」ほかのデモ (40分程度) を予定しています。

◆ 第91回 自然言語処理研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 徳永健伸, 永井秀利, 林 良彦)

日 時 平成4年9月17日 (木) 13:00~15:50

18日 (金) 10:00~15:00

会 場 横浜国立大学 電子情報工学棟 3階 演習室2

〔横浜市保土ヶ谷区常盤台 156, JR: 横浜 (西口) 下車, 市営バス (11番乗場), または相鉄バス (9番乗場) 横浜国大行: 横浜国大下車 (約20分), 徒歩約10分. Tel. 045 (335) 1451 内 2905 (中川裕志)〕

議 題

9月17日 (木)

- (1) JCMTにおける訳文の特殊な数量表現に関する一考察 任 福継 (CSK)
〔概要〕 中国語の数量詞の表現上および文法上の特殊な働きとその日中機械翻訳への応用について述べる。

(2) 英日機械翻訳システムにおける並列関係の検出 武田紀子(成蹊大)

〔概要〕 同じような形をしたものは、並列関係を生成しやすいというところに着目した解析について述べる。

(3) 手話ニュース文の分析と手話変換処理

安達久博(宇都宮大), 吉澤昌三(栃木県立聾学校), 藤田均子, 松本 崇, 鎌田一雄(宇都宮大)

〔概要〕 手話通訳システムの実現のため、ニュース文を対象に音声言語と手話言語の変換処理について考察する。

(4) 人名の読みからの検索法

高橋克巳, 岩瀬成人(NTT)

〔概要〕 人名の読みの分布の特徴を報告し、同字異音姓などの読みのゆらぎを解消した検索方法を提案する。

9月18日(金)

—10:00~12:00—

(5) 校正支援システム『FleCS』の新聞社における実用化 奥村 薫, 脇田早紀子, 金子 宏(日本IBM)

〔概要〕 校正者からの知識獲得, 校正ルール・辞書の適応法, および使用テスト結果について述べる。

(6) 日本語文章のキーワード自動抽出手法 水野 聡, 島田静雄, 中牟田純, 佐藤 尚, 近藤邦雄(埼玉大)

〔概要〕 法律文や論文中で重要となるキーワードを字種切り法などにより自動的に抽出する方法を提案する。

(7) 共起関係を利用した日本語複合名詞の分割

内山将夫, 板橋秀一(筑波大)

〔概要〕 学習済の複合語についての確実な分割と単純にポイントを張ることに比べての辞書効率の向上を示す。

—13:00~15:00—

(8) 前提を用いた曖昧性解消

中野幹生(NTT)

〔概要〕 前提が文の解釈と状況とを結ぶ鍵となることを示し, その計算モデルについて議論する。

(9) 接続の機能語の意味とその制約

森 辰則, 岡 弘幸, 中川裕志(横浜国大)

〔概要〕 対照を表す「しかし」「が」など数種の機能語の意味をそれらが文に課す制約という観点から検討する。

(10) 日本語談話における概言の助動詞の意味論

小野 晋, 西澤信一郎, 森 辰則, 中川裕志(横浜国大)

〔概要〕 「だろう」などの概言の助動詞が日本語の談話中に加わった場合の意味論的な影響を検討する。

(11) 格フレーム選択における意味マーカと例文の有効性について

黒橋禎夫, 長尾 真(京大)

〔概要〕 意味マーカを用いる格フレームの選択方法と, 例文およびシソーラスを用いる方法との比較検討を行う。

◆ 第68回 記号処理研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 竹内郁雄, 幹事: 天海良治, 多田好克, 湯浦克彦)

日 時 平成4年9月22日(火) 10:20~17:00

会 場 九州工業大学 情報工学部研究棟 7階 知能情報セミナー室

〔飯塚市川津 680-4, JR: 博多下車, 西鉄特急バス: 飯塚バスセンター下車, タクシー5分, または JR(筑豊線): 新飯塚下車, バス: 九工大行(約15分, 本数少). Tel. 0948 (29) 7600 (知能情報工学科事務室)〕

議 題

—10:20~12:00—

(1) C言語におけるリスト処理のための記憶管理方式

小田利彦(リコー)

〔概要〕 動的変数の束縛を無視するため関数の実行期間を単位にセル領域を圧縮するインクリメンタル GC 方式。

(2) 引数の出力モード伝播による PROLOG の最適化方式

碓崎賢一(九工大)

〔概要〕 デリファレンスやトレイル処理を除去し, 出力モードの単一化性能を向上させる最適化手法を示す。

—14:00~17:00—

(3) TAO における余剰引数, 多値, 倍長数の計算などの見直し

竹内郁雄, 天海良治, 山崎憲一, 吉田雅治(NTT)

〔概要〕 表記について, 汎用機上の Lisp でも容易に実現可能な latent cons の方式を考案した。

(4) 単語が持つ感情的イメージのファジィ処理

石坂敏弥, 廣田豊彦, 矢嶋虎夫(九工大)

〔概要〕 単語から連想される感情を8次元空間へ写像し, ファジィ推論を行うシステムと実験例について。

(5) Cベースのオブジェクトのための複写式回収器

小野寺民也(日本IBM)

〔概要〕 Cベースのオブジェクトのための慎重型でかつ世代型の複写式回収器について述べる。

◆ 第57回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(予定発表件数: 17件)

(主査: 河岡 司, 幹事: 滝沢 誠, 寺中勝美, 水野忠則)

日 時 平成4年9月24日(木) 9:30~17:00

9月25日(金) 9:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修2号室(所在地は前記参照)

議 題 特集: 通信と AI

9月24日(木)

—9:30~11:30—

- (1) 基調講演: 通信と AI —通信の視点から— (仮題) 白鳥則郎 (東北大)
(2) 基調講演: 通信と AI —人工知能の視点から— (仮題) 河岡 司 (NTT)

—12:30~17:00—

- (3) ユーザの長期行動パターンに基づく非同期通信の適応制御 山上俊彦 (NTT)
〔概要〕 利用者の通信行動傾向に基づき非同期通信のタイムアウトを設定する方法を検討する。
(4) A Study of Communication Methods for Distributed System Management in OSI Environment
Seung-seob Park, Norio Shiratori, Shoichi Noguchi (東北大)

〔概要〕 分散システムの管理を効率的に行うためのプロトコルを提案する。

- (5) Flow Control in Expert System-Aided Networks
Emad Rashid, Hiroaki Kobayashi, Tadao Nakamura (東北大)

〔概要〕 通信路の空チャンネルを最大限に利用するための知識処理技法を述べる。

- (6) 知識獲得アルゴリズムによる通信ネットワーク管理の考察
河野浩之 (京大), 西尾章治郎 (阪大), 長谷川利治 (京大)

〔概要〕 通信ネットワークの特性を表すルールを, データベースの学習アルゴリズムにより求めて管理知識とする。

- (7) The MIKB Approach to Intelligent Network Management
Glenn Mansfield, Krishnamachari Jayanthi, Makoto Murata, Kenichi Higuchi
Yoshiaki Nemoto (高度通信研), Shoichi Noguchi (東北大)

〔概要〕 MIKB に基づく知的ネットワーク管理のモデルの提案と詳細化について述べる。

- (8) IN をベースとした呼処理アーキテクチャ 寺島美昭, 清水桂一, 伊藤修治, 水野忠則 (三菱電機)
〔概要〕 IN をベースに呼処理サービス要素と他の要素との協調を目指したアーキテクチャに関する考察。

9月25日(金)

- (9) 概念学習機能を持つ分散協調エージェントシステム 中沢 実, 服部進実 (金沢工大)
〔概要〕 ルールの強度の調整や概念を形成する学習機能を用いたマルチエージェントシステムを紹介する。

- (10) 分散資源割当における共生的アプローチ: 通信網の資源管理を目指して 桑原和宏, 石田 亨 (NTT)
〔概要〕 通信網などのマルチエージェントシステムにおいて, 経済の考え方に基づく資源割当手法を提案する。

- (11) 協調的データベースシステムについて 矢羽田千哲, 濱田 賢, 滝沢 誠 (電機大)
〔概要〕 複数の自律的データベースシステムを統合的に利用するシステムのアーキテクチャについて述べる。

- (12) 分散環境における知的システム開発のためのツールプラットフォーム
福島 学, 菅原研次 (千葉工大), 木下哲男 (沖電気), 浮貝雅裕 (千葉工大)

〔概要〕 知識処理モジュールを含めた分散オブジェクトの生成と統合を支援するための基盤環境について述べる。

- (13) 事例ベース推論を適用したソフトウェア再利用に基づく通信ソフトウェア開発環境
吉村 晋 (高度通信研), 白鳥則郎 (東北大)

〔概要〕 通信ソフトウェアを効率的に作成するために, 事例ベース推論を用いた開発環境について述べる。

- (14) 分散システム設計における設計知識の表現と利用
木下哲男 (沖電気), 菅原研次 (千葉工大), 白鳥則郎 (東北大)

〔概要〕 分散システム設計に係わる種々の知識を知識モデルに基づいて表現・利用する手法について議論する。

- (15) 異機種分散環境における伝言システムの実装
伊藤昭典, 亀山三穂, 吉田 誠 (沖テックノシステムズラボラトリ)

〔概要〕 異機種接続 LAN 上に構築した伝言システムの概要と, 協調支援活動に向けての今後の展開を述べる。

- (16) C-PRS の実時間処理機能 横田英俊, 松本一則, 浅見 徹 (KDD)
〔概要〕 実時間処理向きエキスパートシェル (C-PRS) の推論エンジンの機能評価について述べる。

- (17) C-PRS を用いた実時間分散処理機能の検討 松本一則, 横田英俊, 浅見 徹 (KDD)
〔概要〕 実時間処理向きエキスパートシェル (C-PRS) を利用した実時間分散処理のプロトタイプを報告する。

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (人工知能と知識処理研究会) との共催で開催されます。上記会告は7月8日現在の申込みによるもので上期以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌8月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第23回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 一松 信, 幹事: 三好和憲, 矢野米雄, 吉田瑞穂)

日時 平成4年9月25日(金) 9:30~13:40

会場 徳島大学 工学部 知能情報工学科 D11 教室

〔徳島市南常三島町 2-1, JR: 徳島下車, 徳島バス(乗り場 1, 3): 徳大前下車, または市営バス(乗り場 5, 6, 7): 助任橋(約10分)下車, 徳島空港より市営バスにて徳大前下車(約20分). Tel. 0886 (23) 2311 内 4712〕

議題 特集: 知的 CAI と一般

—9:30~12:15—

(1) 視覚障害学生における情報処理教育 石田久之(筑波技術短大)

〔概要〕 短期大学における実践例を紹介し, 具体的指導方法を提案する.

(2) LOGO を用いた「プログラミングの世界」への導入教育の経験 和田 勉(長野大)

〔概要〕 初心者の学部学生を対象に同教育を行い, 一応「きちんと学べばプログラミングが分る」状況にできた.

(3) コンピュータ版心理学テキストの作成手法の開発(1)

井原 零, 河村 敦(作陽短大), 林 春男, 坂田省吾(広島大), 山上 暁(江南女子大)

石原 茂(山口大), 畑本恵子(広島中央女子短大)

〔概要〕 心理学的考え・見方・研究方法についての組織的・総合的指導を可能にする支援システムの構築.

(4) 電子メールによる講義の補助 松井林生, 斉藤明紀, 都倉信樹(阪大)

〔概要〕 実習課題について学生ごとに講評などをメールで返し, 講義の理解を補助する試みについての報告.

(5) 地理学習における説明構造について 金西計英(金沢工大), 森本由香, 矢野米雄(徳島大)

〔概要〕 地理学習を行う ITS における説明の構造について考察し, 説明の生成についてモデル化を行う.

(6) 英会話学習を対象とした環境型知的 CAI システム —シミュレーション制御における誘導戦略—

岡本 竜, 矢野米雄(徳島大)

〔概要〕 会話シミュレーション制御を通じて学習者を教育目標に導く誘導の機構について論じる.

—13:15~13:40—

(7) 漢字学習を対象とした環境型知的 CAI —ナビゲーションによる学習支援—

林 敏浩, 矢野米雄(徳島大)

〔概要〕 学習者に適切な誘導情報を提示して効果的な学習を支援するナビゲーションの機構について論じる.

* 人工知能学会(知的教育システム研究会)との協賛で行われます.

* 引き続き, 人工知能学会(知的教育システム研究会)(協賛)の発表が9件あります.(13:45~17:45)

◆ 第29回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 五十嵐善英, 幹事: 浅野哲夫, 白石洋一, 平田富夫)

日時 平成4年9月25日(金) 9:30~15:00

会場 福井大学 工学部 会議室

〔福井市文京 3-9-1, JR: 福井より京福電鉄(三国線): 西福井下車, 徒歩1分, または京福電鉄市内バス(9番乗場)幾久・新田塚行, または北部循環バス(8番乗場): 福井大学前下車, 徒歩1分. Tel. 0776 (23) 0500〕

議題 —9:30~12:00—

(1) Hybrid Genetic Algorithm (HGA) によるグラフの2分割問題の最適化

稲吉宏明(電総研), 秋山 泰(京大), 古谷立美(電総研), 星野 力(筑波大)

〔概要〕 グラフの2分割問題の最適解を効率的に求めるアルゴリズムとして HGA を提案しその有効性を示す.

(2) 有限個のラベルが一様に分布する木のラベル付け 熊谷 毅, 中澤寿之(宇都宮大)

〔概要〕 任意の部分木に対し, 有限個のラベルのそれぞれが均等に出現する, 木のラベル付けの方法を示す.

(3) On Minimum and Maximum Spanning Trees of Linearly Moving Points

加藤直樹(神戸商大), 徳山 豪, 岩野和生(日本 IBM)

〔概要〕 空間上を点が直線に沿って定速度で移動するときの最小木・最大木の変化回数の上限を与える.

(4) 動的 Voronoi 図の一般化について 今井桂子(中央大), 今井 浩(東大)

〔概要〕 点に対する高次の Voronoi 図や円の Voronoi 図などの動的な場合について考察する.

—13:00~15:00—

(5) スケーリング操作により商数字選択を簡単にした基数の2除算器 外村元伸(日立)

〔概要〕 除数の範囲を $[1, 5/4]$ の区間にずらせば部分剰余値の2桁(従来3桁)で商数字を選択できる解を示す.

(6) An offline dynamic subset sum algorithm and its application

戴 陽(神戸商大), 今井 浩(東大), 岩野和生(日本 IBM), 加藤直樹, 大塚啓司(神戸商大)

〔概要〕 オフライン・ダイナミックなサブセットサムのアルゴリズムを最大格差バランスカット問題に適用する。
(7) A Linear Algorithm for Edge-Coloring Series-Parallel Multigraphs

周 暁, 中野眞一, 鈴木 均, 西関隆夫 (東北大)

〔概要〕 直並列多重グラフに対して辺彩色問題を解く線形時間のアルゴリズム

* 24日, 同会場にて電子情報通信学会(回路とシステム研究会: グラフ・ネットワークとペトリネット特集)が開催されます。また, 24日の研究会終了後に両研究会合同の懇親会が開かれます。

◆ 第 87 回 ソフトウェア工学研究会

(予定発表件数: 8 件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 大時和仁)

日 時 平成 4 年 9 月 29 日 (火) 10:30~17:00

会 場 早稲田大学 理工学部 51号館 3階 第2会議室

〔東京都新宿区大久保 3-4-1, JR (山手線), 西武新宿線, または地下鉄 (東西線): 高田馬場下車, 徒歩 15分。
Tel. 03 (3203) 4141〕

議 題

(1) 時制論理を用いたプロトコルの LOTOS 仕様の合成

安藤敏彦, 加藤 靖 (仙台電波高専), 高橋 薫, 野口正一 (東北大)

〔概要〕 プロトコルの時間的性質に着目して時制論理を用いて記述し, LOTOS 仕様を導出する。

(2) プログラムと仕様書の統合管理による開発保守支援システム

吉野利明, 上原三八, 石崎あゆみ, 川辺敬子 (富士通研)

〔概要〕 プログラムからの仕様書生成, 文書統合管理, レビュー支援機能をもつ開発保守環境について述べる。

(3) 構造化分析/設計の方法論に基づいたプログラム理解支援ツール

四野見秀明, 藤井邦和, 牧野正士, 津田和幸 (日本 IBM)

〔概要〕 プログラムから構造化分析/設計で用いられる図を生成するツールとそれを用いたプログラム理解。

(4) グループ開発のためのオブジェクト指向開発支援システムの分析と設計

ベセモンテネグロ マヌエル ヘスス, 碓崎賢一 (九工大)

〔概要〕 クラスライブラリとネットワーク機能を中核とした C++ 用開発支援システムの要求分析と設計を示す。

(5) 利用者によるシステム開発に関する考察

横山岳浩 (ソニー)

〔概要〕 ユーザインタフェースの開発において, 実行中に画面構成が変化するようなものにも対応した。

(6) ソフトウェア品質評価システム ESQUT

小笠原秀人, 平山雅之 (東芝)

〔概要〕 実プロジェクトへの適用事例を示し, 品質の作り込みへの利用可能性について述べる。

* 今回の研究会は電子情報通信学会(ソフトウェアサイエンス研究会)との共催で開催されます。上記会告は7月8日現在の申込みによるもので, それ以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌8月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

前号(7月号)掲載の第87回研究会会告の18件目へ以下の発表を追加いたします。8月20日(木)の開催時間が当初の9:15~10:15から8:45~10:15へ変更されますのでご注意ください。

● 追加発表(8月20日(木))

(18) 多重バス通信を用いた動的計画法の計算

渋沢 進 (茨城大)

〔概要〕 多重バス通信を用いて, 多角形の最適3角形分割を効率的に求める方法とその一例を報告する。

◆ プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

前号(7月号)掲載の第8回研究会会告の13件目へ以下の発表を追加いたします。それにとまなまして発表番号が繰り下げられますとともに8月21日(金)の開催時間が当初の10:30~17:45から10:30~18:15へ変更されますのでご注意ください。

● 追加発表(8月21日(金))

(13) 図を用いた分散システム記述言語と分散システム自動生成システム

早田弘一, 山之上卓, 安在弘幸 (九工大)

〔概要〕 システム上のソフトウェアを図から作成できるプリコンパイラの開発を行った。

◆ ソフトウェア工学研究会

第88回研究会(11月10日(火)於慶大(日吉)開催)の発表論文を募集中です。奮ってご応募ください。

(発表申込締切: 平成4年8月31日(月))

◆ 情報学基礎研究会

第28回研究会の開催会場を下記のように変更いたします。なお、開催日程は予定どおりです。多数のご参加をお待ちしております。詳細については10月号に掲載いたします。

日 程 平成4年11月10日(火)
会 場 大阪大学 基礎工学部
議 題 特集：意味論とその応用(仮題)

◆ ヒューマンインタフェース研究会

◆ 情報メディア研究会

◆ 音楽情報科学研究グループ

11月合同研究会の日程の訂正とお詫び

前号(7月号)会告において11月の研究会の日程を11月11日(水)、12日(木)とお知らせしましたが、11月12日(木)、13日(金)の誤りでした。訂正し、お詫びいたします。なお、発表論文を募集しておりますので特集等詳細掲載の前号をご参照のうえ奮ってご応募ください。

◆ ソフトウェア工学研究会

◆ 仕様記述の効率的適用と評価研究グループ

上記研究会と研究グループの合同研究会(当初12月2日(水)~4日(金)於電総研開催)は下記のとおり日程変更となりましたのでお知らせいたします。なお、発表論文を募集中ですので詳細は前号(7月号)をご覧ください。

日 程 平成4年12月14日(月)~16日(水)
会 場 電子技術総合研究所
議 題 特集：仕様記述

発表申込締切 平成4年9月7日(月)

◆ 第16回 音楽情報科学研究グループ

(主査：平田圭二，幹事：志村 哲，鈴木 孝，増井誠生)

夏のシンポジウム '92

日 時 平成4年9月1日(火) 17:00~20:30
9月2日(水) 9:30~20:30
9月3日(木) 9:30~17:00

会 場 早稲田大学 総合学術情報センター 国際会議場(9月1日・2日)
早稲田大学 1号館 4階 会議室(9月3日)

(東京都新宿区西早稲田 1-20-14, 営団地下鉄(東西線):早稲田下車, 徒歩7分(早稲田大学本部キャンパス裏).
Tel. 03 (3203) 4141 内 71-5187)

議 題

9月1日(火)

●ミュージック・セッション：テープ・コンサート(無料)(17:00~20:30)

9月2日(水)

●ペーパー・セッション：SYNTHESIS(9:30~10:30), COMPOSITION(11:00~12:00)
PERFORMANCE SYSTEM(13:30~14:30), ACOUSTICS(15:00~16:00)

●ミュージック・セッション：コンサート(有料)(国際会議場内井深ホール)(18:00~20:30)

9月3日(木)

●ペーパー・セッション：PERCEPTION(9:30~11:00), ACCOMPANIMENT(11:30~12:30)

●チュートリアル・セッション(13:30~15:30)

●総会(16:00~17:00)

参加費 音情研会員：7,000円 音情研非会員：8,500円 学生：3,000円均一(学生証提示)

※予稿集・コンサートを含む(ミュージック・セッションだけの参加も可能です(参加費：2,000円))

問合せ先

松島俊明 東邦大学 理学部 情報科学科 274 船橋市三山 2-2-1

Tel. 0474 (72) 1141 内 3473 FAX 0474 (75) 1855 e-mail: matusima@tansei.cc.u-tokyo.ac.jp

平田圭二 ICOT 108 港区三田 1-4-28 三田国際ビル 21階

Tel. 03 (3456) 3193 FAX 03 (3456) 1618 e-mail: hirata@icot.or.jp

◆ 第5回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(発表件数：2件)

(主査：山田尚勇，幹事：牛島和夫，空閑茂起，福島敏高)

日 時 平成4年9月7日(月) 13:30~17:00

会場 機械振興会館 地下3階 研修2号室 (所在地は前記参照)
議題

- (1) 複数の校正用辞書の整合性を加味した形態素解析の実用化 木村興弘 (明電舎)
- (2) 文書添削支援環境 “Naos” 田淵 篤 (日電)

参加費 2,000円/1回 *登録者: 無料 (年間登録費: 4,000円/4回)
問合せ先 福島, 杉田 (富士通) Tel. 03 (3216) 9725 FAX 03 (3215) 5987

◆ 第2回 グループウェア研究グループ研究会 (発表件数: 8件)
(主査: 松下 温, 幹事: 岡田謙一, 守屋康正, 山上俊彦)

日時 平成4年9月11日 (金) 10:00~16:00
会場 慶應義塾大学 理工学部 厚生棟3階 B会議室
〔横浜市北区日吉 3-14-1, 東横線: 日吉 (東口) 下車, 徒歩3分. Tel. 045 (563) 1141 内 3537 (松下研)〕

- 議題
- (1) 分散型マルチメディアプラットフォーム Wild Card の情報工学科授業への適用 宗森 純, 吉野 孝, 長澤庸二 (鹿児島大)
 - (2) グループウェア評価環境 GUE 山上俊彦 (NTT)
 - (3) Pilot Window: 情報空間でのコミュニケーションの一提案 松浦宣彦, 藤野 剛, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)
 - (4) アノテーション付き文書通信のためのオブジェクト指向環境 嶋田 茂, 青島利久, 上原徹三 (日立)
 - (5) 統合型分散ハイパーメディア電子掲示板システム —Hyper BBS—の提案 庭野栄一, 渡辺 徹 (NTT)
 - (6) ハイパーメディアのリンクを加味した問い合わせ検索機構 市村 哲, 前田典彦, 松下 温 (慶大)
 - (7) ソフトウェア分散協調開発のための協調型設計過程支援アルゴリズム 古宮誠一 (IPA)
 - (8) MERMAID の分散協調制御機構とその遠隔バーチャルリアリティへの応用 阿部豊子, 前野和俊, 福岡秀幸, 水野浩美, 久保信也
阪田史郎, 篠原克也, 平池龍一, 川越恭二 (日電)

*参加は研究グループ会員に限ります。(非会員の方は会場で会員登録 (年会費 4,000円) を受け付けます。)
なお研究会の論文を募集しています。詳細は下記にご連絡ください。

問合せ先 岡田謙一 慶應義塾大学 理工学部 計測工学科 223 横浜市港北区日吉 3-14-1
Tel. 045 (563) 1141 (内 3537) FAX 045 (562) 7625 e-mail: okada@inst.keio.ac.jp

◆ 音声言語情報処理と音声入出力装置研究グループ
第2回 研究会 講演および参加募集案内

日時 平成4年10月23日 (金) 13:00~18:00
10月24日 (土) 9:00~15:00

会場 塩原簡易保険保養センター

議題 テーマ: 音声入出力機器の現状とヒューマンインタフェースの課題

今回は、要素技術としての音声認識/合成機器の現状と、ヒューマンインタフェースとしての課題を把握することに焦点を当て、デモ実演、ビデオプレゼンテーションを中心に議論と情報交換を行う予定です。

発表テーマは、新しい要素技術・音声対話の言語現象・言語モデル・対話モデル・マルチモーダル対話などに関連するものであれば、広く受け付けます。アイデア段階の発表・問題提起・サーベイ報告などを歓迎します。

* 電子情報通信学会 (音声認識の実用化を目指す新手法時限研究専門委員会) との共催

参加費 資料代: 2,000円 (宿泊費: 13,000円程度)

申込方法 本研究会は合宿形式で行います。講演、または参加ご希望の方は、下記まで FAX か e-mail でご連絡ください。その際、ご所属、氏名、電話、FAX 番号をお知らせ願います。

講演申込締切 平成4年8月31日 (月) (原稿・参加申込締切: 平成4年9月25日 (金))

問合せ先 新田恒雄 (東芝 情技研)
Tel. 044 (548) 5352 FAX 044 (511) 3172 e-mail: nitta@sp.ilab.toshiba.co.jp

● 今後の予定テーマ

第3回 音声入出力装置の動作環境に関するシンポジウム (平成5年2月中旬)

◆ 研究発表会（後期）開催予定（1992年10月～1993年3月）

(研究会名)	(開催日・会場・特集他)
自然言語処理	11月19日(木)・20日(金) 京大会館 1月13日(水)・14日(木) 北海学園大 3月19日(金) 国立国語研
データベースシステム	11月6日(金) 阪大または神戸大 ※OODBと次世代データモデル 3月22日(月) 機・B3-2
人工知能	*11月19日(木)・20日(金) 琉球大 1月20日(水)・21日(木) ATR または NTT (奈良) 3月4日(木) 機・B3-2 ※学習の応用
記号処理	1月22日(金) 日電(本社) 3月19日(金) NTT(武蔵野)
ソフトウェア工学	*11月10日(火) 慶大 12月14日(月)～16日(水) 電総研 ※仕様記述 2月4日(木)・5日(金) 金沢大 3月2日(火) 機・B3-2
計算機アーキテクチャ	*10月22日(木)・23日(金) 九大 ※VLSI コンピュータ 11月, または12月 弘前大学 *1月21日(木)・22日(金) 松下電器(関西) ※アーキテクチャ設計支援, ハイレベル合成等 *3月11日(木)・12日(金) ルスツリゾートホテル(北海道) ※実時間処理ワークショップ(RTP'93)
オペレーティング・システム	12月4日(金) 機・6F65 3月19日(金) 機・6F65
コンピュータビジョン	*11月19日(木)・20日(金) 京大 1月21日(木) 広島大 3月18日(木) 機・6F65
設計自動化	*10月22日(木)・23日(金) 東北大 ※設計とテストおよび一般 *1月21日(木)・22日(金) 関西 ※アーキテクチャ設計支援, ハイレベル合成および一般 3月12日(金) 機・B3-2 ※フレームワークおよび一般
マルチメディア通信と分散処理	11月19日(木)・20日(金) 琉球大 1月29日(金) 三菱電機
ヒューマンインタフェース	11月12日(木)・13日(金) 国立民族学博物館 ※メディアとインタフェースおよび一般 1月14日(木) 機・6F65 3月1日(月)・2日(火) 北大
グラフィクスとCAD	10月23日(金) 東京電機大 *12月17日(木)・18日(金) 山口大 2月26日(金) リコー(東京)
数値解析	10月15日(木) 徳島大 12月4日(金) お茶の水大 3月 統数研
情報システム	10月20日(火) 機・B3-2 1月19日(火) 機・B3-2 3月16日(火) 日本ユニシス(東京)
プログラミング —言語・基礎・実践—	10月30日(金) 機・6F66 ※90年代の言語処理系 1月29日(金) 富山県立大 ※ユーザ・インタフェース *3月10日(水)・11日(木) 東京
情報学基礎	11月10日(火) 阪大 ※意味論とその応用
コンピュータと教育	11月20日(金) 機・B3-1 1月22日(金) 機・B3-1

(平成4年7月10日現在)

(研究会名)

(開催日・会場・特集他)

ア ル ゴ リ ズ ム	*11月20日(金) 広島大 1月25日(月) 東芝 3月18日(木) 九大
人文科学とコンピュータ	11月27日(金) 中京大 3月5日(金) 鳴門教育大
情報メディア	11月12日(木)・13日(金) 国立民族学博物館 ※メディアとインタフェースおよび一般 1月14日(木) 機・B3-研2 3月12日(金) 機・B3-研2

注) 機：機械振興会館，*：他学会と共催，※：特集・テーマ

◎ 各研究会に発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会係までご送付ください。

本会協賛等の行事案内*

第28回 シンポジウム「地球環境問題を探る」

平成4年9月8日(火)

東京・工学院大学

第189回 講習会「次世代CADの必須アイテム, 標準部品ライブラリ」

平成4年9月10日(木)

東京工業大学

第4回 テクニカルコミュニケーションシンポジウム

平成4年9月10日(木)～11日(金)

東京・立教大学

INS '92「OSI 相互接続実験 '92」

平成4年9月16日(水)～19日(土)

東京国際見本市会場

平成4年度 AVIRG-SMC サマーセミナー「五感を探る」

平成4年9月22日(火)

東京・早稲田大学

システム制御情報イーブニングスクールチュートリアル講座「フィードバック制御の基礎」

平成4年9月22日(火), 28日(月), 10月1日(木), 5日(月), 9日(金)

大阪マーチャンダイズマートビル

情報処理振興事業協会技術センター第11回 技術発表会

平成4年10月21日(水)

東京・明治記念館

マイクロ化技術の最前線

平成4年10月22日(木)～23日(金)

東京・中央大学

講習会「ビジネスにおけるファジィ戦略—評価支援に向けて—」

東京・明治大学

第7回 流体制御シンポジウム

平成4年12月7日(月)～8日(火)

東北大学

第10回 流体計測シンポジウム

平成4年12月17日(木)～18日(金)

東京・国立教育会館

第4回 ロボテックス・自動化システム, 第3回 ニューラルネットワーク合同シンポジウム

平成5年3月18日(木)～19日(金)

東京・明治大学

* 詳細は本号会議案内欄参照

研究会発表申込書

_____ 研究会 (申込 年 月 日)

• 発表希望開催日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ()

• タ イ ト ル _____

• 氏名, 略称所属
(発表者に○印右肩) _____

• 概 要 (46 文字以内) (なるべくタイトルの重複記入は避け, 補足事項等をご記入ください)

• 原稿詳細送付先

〒 _____

(会員 No. _____)

• 連絡先

住所 〒 _____

☎ _____ ()

FAX _____

_____ 年 _____ 月 _____ 日受付 AM・PM 送付 主査・幹事 ()

担当 _____

会 告

奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る10月12日～14日に徳島大学で開催される第45回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第45回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は奨励賞委員会（委員長 相磯副会長）で行い、その発表と表彰は来年3月に開催の第46回全国大会（工学院大学）時に行われる予定です。

記

選定範囲および推薦数

第45回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

推薦資格 本学会正会員に限る。

推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校(学部)卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会奨励賞係あてお送りください。

推薦締切 平成4年10月31日（当日消印有効）

表彰規程(抜粋)

第5章 奨励賞

第19条 奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

賞金は、1名につき20,000円とする。

第45回 全国大会（平成4年後期）概要について

- 開催期日** 平成4年10月11日（日）～14日（水）
- 会場** 徳島大学教養部（徳島市南常三島町 2-1）
- 参加費** 電子情報通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員は本会会員扱いとします。（賛助会員は正会員に準じます。）
 会員 1,000円 非会員 2,000円 学生 無料
- 論文集・参加予約** 9月4日（金）締切り
 分冊 予約価各 4,000円（定価各 6,000円） セット（6分冊一揃，講演者索引・カバー付）
 予約価 24,000円（定価 36,000円）
- プログラム** プログラムの詳細は9月号に掲載されます。
- 招待講演 1** (10月12日 14:10～15:10)
 An Alternative to Trade Friction: Opportunities to Cooperate between Japan and Canada
 in Information Technology Eric Manning（慶大客員教授）
- 招待講演 2** (10月12日 15:30～16:30)
 パーソナルコンピューティング環境の現状と今後 浮川 和宣（ジャストシステム）
- パネル討論** (10月13日 12:30～14:45)
 スーパーコンピュータに将来はあるか (司会) 村岡 洋一（早大）
 パネラ 関口 智嗣（電総研），岸本 光弘（富士通研），
 西 直樹（日電），天野 英晴（慶大）
- 一般セッション** （論文発表申込 1,088件）
- チュートリアル・セッション** (10月11日 10:00～17:00)
 ・並列・分散・協調 AI
- 展示会** 「一太郎 Ver. 5 とその周辺」次世代をリードする日本語ワープロ「一太郎」シリーズの最新バージョン「一太郎 Ver. 5」とそれを核としたグループウェア。
- 懇親会** 10月12日（月）17:00～（眉山会館2階カトリアの間）有名連による本場阿波踊りの実演と指導があります。
 会費 4,000円（定員 150名）
- 宿泊交通案内** 下記業者宛に申込みください。
- 日本交通公社 団体旅行新宿支店 営業第三課 担当：杉戸・中村
 160 新宿区西新宿 1-18-8（新宿スカイビル 4F） Tel. 03 (3346) 0161 FAX 03 (3346) 8248
- 日本旅行 新橋団体旅行・海外旅行支店 情報処理学会係 担当：岩下・樋山
 105 港区新橋 3-7-9（川辺ビル 3F） Tel. 03 (3581) 1588 FAX 03 (3581) 7505
- 東急観光 徳島支店 担当：村見
 770 徳島市寺島本町西 1-58 Tel. 0886 (22) 8991 (代) FAX 0886 (22) 9703
- 研究賞・奨励賞の表彰** 平成4年度研究費（6回）および第44回全国大会奨励賞受賞者の表彰を本大会時に行います。

第46回 全国大会（平成5年前期）の開催について

平成5年春の第46回全国大会は下記により開催される予定です。大会実施要領は9月号本欄に掲載されますので、ご留意ください。

- 期日** 平成5年3月23日（火）～26日（金）
- 場所** 工学院大学（東京都新宿区西新宿）

第45回全国大会予約案内

第41回全国大会(平成2年後期)から、講演論文集の分売制を導入いたしました。これにより、論文集の価格が大幅に変わりましたので、購入担当者の方ご注意ください。

つきましては、講演論文集・参加・懇親会の「予約」を募集いたしますので、ぜひお申込みくださいますようお願い申し上げます。

期 日：平成4年10月11日(日)～14日(水)

会 場：徳島大学教養部(徳島市南常三島町1-1)

論文集：B5判オフセット印刷 ※論文集価格は消費税・送料込です

■第1分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)

情報科学一般
基礎理論及び基礎技術
ネットワーク
応用

■第2分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)

人工知能及び認知科学
人工知能システム
パターン認識
生体情報処理
感性情報処理
データ処理
音声処理
画像・図形処理

■第3分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)

人工知能及び認知科学
基礎理論
自然言語処理
データ処理
テキスト処理
マルチメディア処理

■第4分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)

ソフトウェア
基礎理論
オペレーティングシステム
データベース・情報検索
プログラミング技術
信頼性と安全性

■第5分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)

ソフトウェア
プログラム言語及び仕様記述言語
言語処理系
ツール
ソフトウェア工学

■第6分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)

ハードウェア
システム

■セット(上記6冊一揃、講演者索引・カバー付)……………予約価24,000円
(定価36,000円)

参加費(プログラム・参加章含む)：会 員1,000円(賛助会員は正会員に準じます)。
非会員2,000円, 学生 無料

申込締切：平成4年9月4日(金) 必着

(締切後は予約扱いいたしませんので、ご了承ください)

第 45 回 (平成 4 年後期) 全国大会 論文集・参加・懇親会予約申込書

■申込締切：9月4日（金）必着

分 冊	予 約 価 (円)	部 数	金 額 (円)
第 1 分 冊	4,000		
第 2 分 冊	4,000		
第 3 分 冊	4,000		
第 4 分 冊	4,000		
第 5 分 冊	4,000		
第 6 分 冊	4,000		
セ ッ ト (6冊一揃)	24,000		
参 加 費 (プログラム, 参加章 含む)	会 員 1,000		
	非会員 2,000		
懇 親 会	4,000		
合 計			

平成 4 年 月 日 (論文集価格は消費税・送料込)
上記の通り予約いたします。

1. 代金は 郵便振替, 銀行振込* (該当にレ印) 送金月日 月 日
*全国大会専用銀行口座「三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座
No. 0003774」
2. 請求書 通, 納品書 通, 見積書 通が必要です。
(注意) 団体名でまとめて送金される場合には, 別紙に送金内訳を記入して事務局
までお送りください。
通信欄:
3. 担当者名 _____ Tel. _____ (内 _____)
4. 申込先: 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F
(社)情報処理学会 全国大会係 Tel. 03 (3505) 0505, FAX 03 (3584) 7925

..... (切りはなさないでください)

(送本先住所) (楷書でハッキリ記入してください)

〒

(機関名)

(氏 名) _____ 殿

(Tel.) _____

(部数) (記入しないでください)

論 (1 2 3 4 5 6 ⊕) プ・参・懇

情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」

特集号への論文投稿のおすすめ

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において下記の要領で「マルチメディア通信と分散処理」をテーマに特集号を企画しております。当学会のマルチメディア通信と分散処理研究会が主催する研究会やシンポジウムにおいてこれまでに発表された論文、また本テーマに関連した論文を広く公募しますので奮って投稿されますようご案内いたします。

記

- (1) 執筆要領 情報処理学会機関誌原稿執筆案内(学会誌 1991年4月号)の論文誌投稿規定によります。
- (2) 査読手続 通常の論文誌投稿論文と同一です。
- (3) 投稿締切 1992年10月31日
投稿論文には、『マルチメディア通信と分散処理』特集と朱書してください。
- (4) 査読完了予定 1993年3月末(照会も含む)
- (5) 特集号予定 1993年6月号

なお、上記のように投稿論文は一般投稿と全く同じ要領で扱われますが、査読が通常よりも迅速に行われ、かつ採録された論文は一括掲載されるという利点があります。

第45回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について

本会では、全国大会の前日にチュートリアル・セッションを開催することにしております。多数の会員が一堂に会する機会にチュートリアル・セッションを開催し、会員の方々の関心のあるテーマを取り上げ、理解を深めたいと考え、この分野の第一線でご活躍の専門家により、最新の技術、さらには将来展望をも含めたチュートリアル・セッションを考えております。

つきましては、標記チュートリアル・セッションを下記により企画いたしました。この機会に奮ってご参加されるようお勧めいたします。

- 日 時 平成4年10月11日(月) 10:00~17:00
- 場 所 徳島大学教養部B館B201教室(徳島市南常三島町)
- 参加費 会員 10,000円 非会員 15,000円 学生 2,000円
(資料のみ 3,000円, 送料込)
- 申込締切 平成4年9月21日(月)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

並列・分散・協調 AI

- 10:15~10:30 テーマの紹介 赤埴 淳一 (NTT)
- 10:30~11:45 1. 超並列 AI 北野 宏明 (日電)
- 11:45~12:50 (昼休み)
- 12:50~14:05 2. マルチエージェント・プランニング
..... 大沢 英一 (ソニー・コンピュータサイエンス研究所)
- 14:05~14:15 (休 憩)
- 14:15~15:30 3. 協調型ソフトウェア 本位田真一 (東芝)
- 15:30~15:40 (休 憩)
- 15:40~16:55 4. 包摂アーキテクチャとコネクティクス 奥乃 博 (NTT)

会
社

第45回 全国大会「チュートリアル・セッション」
参加申込書

平成4年 月 日

標記チュートリアル・セッションの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生（含大学院生） 2,000円

*参加費には，資料代が含まれています。

○テキストのみ（3,000円，送料込） _____冊

○申込先 情報処理学会 チュートリアル係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

○送金方法

- * _____円を a) 当日，会場受付にて支払います。
b) _____月 _____日送金します。

*（bを選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
（社）情報処理学会 チュートリアル係）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店	1013945	富士銀行虎ノ門支店	993632
三菱銀行虎ノ門公務部	0000608	さくら銀行東京営業部	4298739
住友銀行東京公務部	10899	三和銀行東京公務部	21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

- ・送金先銀行名 _____銀行宛
- ・送金取扱銀行名 _____銀行 _____支店より
- ・送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

会
告

「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

—新たなバーチャルリアリティを求めて—

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

- 日 時** 平成4年9月24日(木) 午前9時~午後5時20分 (午後5時30分より懇親会)
9月25日(金) 午前9時~午後5時20分
- 場 所** 工学院大学3階 AV ホール (JR 新宿駅西口から地下通路京王プラザ方面 徒歩約4分)
新宿区西新宿 1-24-2 Tel. 03 (3342) 1211
- 主 催** 情報処理学会グラフィクスと CAD 研究会
- 参加費** 正会員 15,000円 非会員 25,000円 (いずれも論文集を含む)
学生会員 5,000円 (論文集含む) 論文集のみ 5,000円 (送料込み)
懇親会参加費 3,000円 (参加申込と同時に申し込みください)
- 申込締切** 平成4年9月14日(月) (定員180名になり次第締め切らせていただきます。資料のみの方は、印刷部数に限りがありますので、なるべく早めにお申し込みください。)
- 申 込 先** 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
(社)情報処理学会「グラフィクスと CAD」シンポジウム係

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 9月24日(木) (9:00~17:20)

開 会 (9:00~9:10)

司会 間瀬 健二 (NTT)

挨拶

西原 清一 (筑波大)

セッション 1 モデリング (9:10~10:10)

座長 柿本 正憲 (富士通研)

● 仮想空間における自由曲面モデリングへの階層化B-スプラインの応用

橋本 守, 篠原 克也 (日電)

● 仮想服飾環境 PARTY—動的変形可能な布のモデルと数値計算手法—

坂口 嘉之 (東洋紡績), 美濃 導彦, 池田 克夫 (京大)

—休 憩 (10:10~10:20)—

招待講演 (10:20~11:20)

司会 宇野 栄 (日本IBM)

「バーチャルリアリティは新しいメディアになるか」

服部 桂 (朝日新聞社)

—休 憩 (11:20~11:30)—

セッション 2 デザイン (11:30~12:30)

座長 小堀 研一 (大阪工大)

● インタラクティブな広域空間ウォークスルー

加藤 伸子 (東芝)

● 代数的制約記述に基づく配色デザインシステム

松山 隆司, 山口 修 (岡山大)

—昼休み (12:30~13:30)—

セッション 3 レンダリング (13:30~15:00)

座長 安田 孝美 (名大)

● 大気散乱を考慮した地球の表示法

白井 隆雄, 西田 友是 (福山大), 中前栄八郎 (広島県立大)

● アトリウム内の光環境シミュレーション

尊田 嘉之, 樋口 作夫, 北村由美子, 大柿 聡 (旭硝子)

● 生物学的モデルに基づく紅葉の可視化—葉のレベルにおける色変化—

早乙女良江, 藤代 一成, 池辺八洲彦 (筑波大)

—休 憩 (15:00~15:20)—

パネル討論 (15:20~17:20)

座長 廣瀬 通孝 (東大)

「バーチャルリアリティからグラフィクスへの期待」

岩田 洋夫 (筑波大), 竹村 治雄 (ATR), 野村 淳二 (松下電工), 菊地 望 (日通エレクトロニクス)

第2日 9月25日(金) (9:00~17:20)

セッション 4 ヒューマンインタフェース (9:00~10:00)

座長 安生 健一 (日立)

● 曲線・曲面の直接変形

山下 樹里, 福井 幸男 (製品科学研)

- 知的デスクワーク支援システム (IDWS) の機能と支援方式

穂坂 衛, 齊藤 剛, 小林 弘忠 (電機大)

——休憩 (10:00~10:20)——

セッション 5 形状処理 (10:20~11:50)

- 位相優先法—幾何的アルゴリズムの数値的安定化のための一手法
- 三面図データからの自動立体復元
- 超2次曲面を用いた濃度表現モデルとその多面体化手法

座長 西原 清一 (筑波大)

杉原 厚吉 (東大)

増田 健, 山口富士夫 (早大)

寺沢 幹雄, 木村 文彦 (東大)

——昼休み (11:50~12:50)——

セッション 6 可視化技術 (12:50~14:20)

- 有限要素法解析結果の可視化システムとその応用
- 四面体格子内部における直線追跡
- 確率分布のボクセル表現による形状生成手法

座長 西田 友是 (福山大)

小山田耕二 (日本IBM)

森脇 惇 (日本IBM)

中村 博之 (野村総研), 山口 泰 (電機大), 木村 文彦 (東大)

——休憩 (14:20~14:40)——

セッション 7 アート (14:40~15:40)

- Bezier 関数を用いた墨絵の表現 西田 友是 (福山大), 田北 晋一 (香川大), 中前栄八郎 (広島県立大)
- フラクタル図形の動画への試み—マンデルブロ集合とジュリア集合—

座長 大野 義夫 (慶大)

石田 則道 (法政大)

——休憩 (15:40~15:50)——

セッション 8 アニメーション (15:50~17:20)

- 表情豊かな顔のアニメーションを目指して

座長 福井 一夫 (NHK)

竹内 彰一, Steave Franks (ソニーコンピュータサイエンス研究所)

- 動力学に基づいたアニメーションのための体積保存変形的手法

寺沢 幹雄, 木村 文彦 (東大)

- 多関節動作体の歩行動作表現の構造的手法

水野 裕識, 田淵 仁浩, 村岡 洋一 (早大)



「メディアと情報処理シンポジウム」参加申込書

平成4年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 12,000円, 非会員 18,000円, 学生 6,000円,

* 参加費には、資料代が含まれています。

○論文集のみ（5,000円, 送料込）_____冊

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計_____円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____月_____日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

- | | | | |
|---------------|---------|---------------|---------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 | 1013945 | 4. 富士銀行虎ノ門支店 | 993632 |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 | 0000608 | 5. さくら銀行東京営業部 | 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 | 10899 | 6. 三和銀行東京公務部 | 21409 |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先_____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 メディアと情報処理シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____

殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

情報処理教育カリキュラムのモニタの募集について

情報処理教育カリキュラム調査委員会

社会の高度情報化が急速に進行しつつある今日、高度な知的集約産業の確固たる基盤を構築することは、わが国にとって急務でありましょう。その中心的課題は、計算機分野において世界の指導的役割を果たすことであり、それなくしては、我が国の将来はきわめてきびしいものとなりましょう。しかるに、我が国が目指すべき知的所有権による立国を支える人材はこの分野できわめて不足しており、我が国の将来にとってきわめて由々しい事態であると言わねばなりません。

計算機分野の専門家に対する社会的ニーズを背景として、近年、我が国では大学・短大・高等専門学校に情報系の学科が急激に増加しています。しかし、その教育の理念・目標・内容は多様であり、必ずしも計算機分野の諸学問・技術の発展・発達・進歩を正しく反映したものは認め難いものも見受けられることは否めません。

本学会「大学等における情報処理教育検討委員会」は文部省の委嘱を受け、長期的展望の上に具体的なカリキュラムを検討することを目的とした「情報処理教育の改善のための調査研究」を実施し、1991年3月には暫定モデルカリキュラム案 J90 を作成しました（本学会誌、Vol. 32 No. 10 pp. 1079-1092）。J90 は、米国計算機学会 ACM (Association for Computing Machinery) が 1968 年以来 10 年ごとに提案・提言している大学の計算機分野のモデルカリキュラムに呼応するもので、多様な広範囲の情報系専門学科に共通に使える最小限のカリキュラムとして作成されたものです。

言うまでもなく、カリキュラムというものは思いつきで短期間にできるものではなく、実践をともなった批判的検討を経て時間をかけて作られるべきものです。上記委員会の活動を継承する当委員会では、J90 やそれ以後のカリキュラム検討の成果について、委員以外の人々の意見を広く求めるために、下記の要領で、モニタを募集いたします。この趣旨に賛同される方々の積極的なご応募をお願い申し上げます。

記

1. モニタには、カリキュラム J90 について、ご意見をお寄せいただけます。賛成、反対、その他いかなる立場のご意見でも歓迎いたします。講義、演習、実験、実習、教科書、あるいはカリキュラム実施上の問題点などに関して、ご意見があらうかと存じます。
2. 大学等で教える立場からのご意見だけでなく、卒業生を受け入れる立場からのご意見も賜りたいと存じます。したがって、企業の方々の応募も歓迎いたします。
3. 必要な資料は当委員会から提供いたします。
4. モニタは特に当委員会の会議に出席する必要はありません。郵便、ファクシミリ、電子メール等、可能な方法で活動できます。
5. モニタの任期は、一応、本年度末までとします。ただし、必要があれば、ご相談のうえ、延長をお願いすることもあります。
6. 当委員会が今後発表する資料には、モニタ全員の名簿を謝辞と共に掲載させていただきます。
7. モニタ応募の締切 **1992年9月30日(水)**

問合せ先 東京農工大学 工学部 電子数理情報工学科 コンピュータサイエンスコース 中森眞理雄
Tel. 0423 (87) 4626 (直通) または 0423 (81) 4221 (内 541) FAX 0423 (87) 4624 (研究室)

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・後援行事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料で取扱いますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

また，教官募集欄の掲載は，平成4年4月号掲載分から，下記のとおり有料となりましたので，あわせてお知らせします。

記

1. 掲 載 条 件

件 名	内 容	掲 載 単 位	掲 載 料 金
行 事 次 第 書	国際会議，シンポジウム，講演会，講習会等の論文募集・参加案内に限る。	1 ページ または 1/2 ページ	(共 催)
			1 ページ 50,000 円
		1/2 ページ 30,000 円	
		(協賛・後援)	
			1 ページ 100,000 円
			1/2 ページ 60,000 円
教 官 募 集	学校またはその附属機関，公益法人，官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る。	1/5 ページ	1 件当り 20,000 円

2. 申 込 方 法

B5判任意の用紙で，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申込みください。

3. 原 稿 の 書 き 方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本誌会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。

なお，記事内容については本会は責任を負いません。

4. 申 込 期 限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

5. 掲 載 料 金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月月末までにお支払いください。

6. 掲 載 申 込 先

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 有料会告係

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

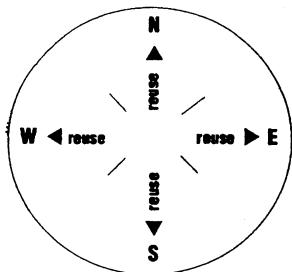
CALL FOR PAPERS

Second International Workshop on Software Reusability

Lucca, Italy
March 24-26, 1993



SPONSORED BY THE IEEE COMPUTER SOCIETY
IN COLLABORATION WITH ACM SIGSOFT



CHAIRS

US : Ruben Prieto Diaz
Europe : Pat Hall
Japan : Masao Matsumoto
Programme: Bill Frakes
Local : John Favaro
Finance : Mitch Lubars

PROGRAMME COMMITTEE

G. Arango (US)
D. Batory (US)
[demo session coordinator]
I. Baxter (US)
[co-sponsors coordinator]
J. Bacquet (Neth)
J. Börstler (Germany)
P. Devanbu (US)
E. Doberkat (Germany)
L. Dusink (Neth)
M. Griss (US)
E. Guerrieri (US)
[publicity coordinator]
K. Harada (Japan)
S. Isoda (Japan)
A. Martelli (Italy)
K. Matsumura (Japan)
J. Morel (France)
J. Poulin (US)
W. Schäfer (Germany)
J. Solderitsch (US)
H. van Vliet (Neth)
M. Wirsing (Germany)

FULL PAPERS AND POSITION PAPERS:

Bill Frakes
Software Engineering Guild
400 Drew Ct.
Sterling, VA 22170
tel: 1-703-450-5954
email: 70761.117@CompuServe.com

NTSC-FORMAT VIDEO SUBMISSIONS:

Don Batory
Department of Computer Sciences
2.124 Taylor Hall
University of Texas
Austin, Texas 78712
email: dsb@cs.utexas.edu

PAL-FORMAT VIDEO SUBMISSIONS:

John Favaro
INTECS Sistemi S.p.A.
Via Fratti, 14
56125 Pisa, Italy
email: favaro@pisa.intecs.it

IMPORTANT DATES

Submission deadline
September 15, 1992
Notification of acceptance
October 30, 1992
Camera-ready copy due
December 15, 1992

The Second International Workshop on Software Reusability, following the guidelines of the first workshop of 1991 in Dortmund, Germany, is organized to bring together known researchers in Software Reusability from the international community.

Several anecdotal successes in software reuse have been reported and presented as encouraging examples. There is a need for solutions that can be applied across domain and organization boundaries. The central objective of the workshop is to explore reuse solutions that include methods and tools, either proposed, prototyped, or applied in practice. Assessment of such methods and tools is critical, as are innovative factors affecting reuse and key reuse inhibitors. One expected outcome is an assessment on the state of the art as seen by the participants, and another is to propose a research agenda for software reusability.

Workshop proceedings will be published. The workshop will consist of selected technical presentations, parallel working groups, and plenary sessions. Attendance is limited and is by invitation on the basis of a submitted paper.

THEMES

The workshop will address the following principal themes:

- **Methods, Tools, and Environments:** methods and tools that support reuse; integrated reuse environments; methods and tools for requirements, design, and code.
- **Reuse Library Methods:** classification and cataloging; component matching, library operation, and performance; library usage.
- **Generative Approaches to Reuse:** executable specifications; code generation; transformational approaches.
- **Constructive Approaches to Reuse:** integration of reusable components; version control; methods and techniques to modify, verify, test, and adapt reusable components.
- **Theoretical Aspects of Reuse:** formal approaches to the reuse process; formal models of components; verification and validation of components and their composition.
- **Organizational and Management Techniques for Implementing Reuse:** incentives; economic and financial techniques; asset acquisition; measurement and experimentation; reliability models; human factors.
- **Domain Analysis Methods and Techniques:** domain modeling; conceptual modeling; knowledge acquisition; object-oriented techniques; re-engineering and reverse engineering.

Working groups will be formed based on these themes.

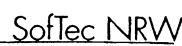
INSTRUCTIONS TO AUTHORS

To ensure a coherent and productive workshop, attendance is limited to 100. Authors should take care to explain the relevance of their work to the workshop themes and its theoretical and practical value.

Submissions may be either a full paper (max. 5000 words) discussing novel approaches or detailed experience, a position paper (max. 2000 words) discussing research in progress, research perspectives, or practical experience, or a video tape of an ongoing project (max. 25 minutes). Only full papers will be published in the proceedings and considered for presentation at the workshop. Position papers will be distributed to participants, and video tapes will be shown during the workshop (in lieu of live prototype demonstrations).

Full paper and position paper submissions (5 copies) should be sent to Bill Frakes by September 15, 1992. Video tape submissions should be sent to either Don Batory or John Favaro by September 15, 1992.

CORPORATE SUPPORT BY:



支部だより

東海支部 見学会

日時 平成4年8月21日(金) 8:50~16:30

見学先 中京大学 豊田キャンパス(豊田市貝津町床立 101)
人工知能研究施設およびスポーツ科学研究施設

集合場所 JR 名古屋駅西口(MEDIA ONE 前)に 8:50 までに集合(時間厳守)

行程(内容) 9:00 出発(貸切りバス)
10:30~14:30 見学(昼食を含む)
AM 人工知能高等研究所他(ビジョンシステム他)
PM フィットネス・プラザ・アクア・ジム
* アクア・ジムではオリンピック水泳選手によるデモを予定
16:30(予定) JR 名古屋駅西口解散

参加資格 情報処理学会東海支部会員に限る.

参加費 1,000円(昼食代,当日集めます)

定員 40名(先着順)

申込方法 往復はがきに「中京大学見学会申込み」と記入し,①会員番号,②氏名,③勤務先・所属(役職),④連絡先住所,⑤電話番号を明記のうえ,下記宛へ送付する.
(折り返し参加証を送りますので,当日は参加証を持参のこと.)

申込締切 8月17日(月) 必着

問合せ先 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052 (204) 4517 水野

講演会

日時 平成4年8月28日(金) 14:00~16:00

場所 中部電力(株)本店 5-1 会議室(名古屋市東区東新町 1)

演題 「地球環境問題とその対応」

宮寺 博(日立)

参加費 無料(参加資格は問いません)

問合せ先 情報処理学会東海支部 Tel. 052 (204) 4517

電気学会東海支部主催,情報処理学会東海支部共催

日時 平成4年9月3日(木) 9:30~11:00

場所 三重大学工学部 情報工学科棟 多目的会議室(三重県津市上浜町 1515)

演題 「次世代情報技術のパラダイム」

大須賀節雄(東大)

参加費 無料(参加資格は問いません)

問合せ先 三重大学工学部 情報工学科 Tel. 0592 (32) 1211 椎野

情報処理学会東海支部主催,電気学会東海支部共催

第2回「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム開催について

—大学の改革と学術法人活性化を目指して—

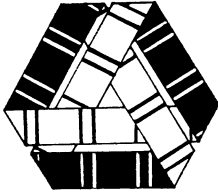
日 時 平成4年10月12日(月) 13:00~17:30
場 所 鹿島建設 KI ビル地下大会議室
 (宮団地下鉄千代田線赤坂下車 港区赤坂 6-5-30 Tel. 03 (5561) 2111)
主 催 日本工学会
共 催 日本工学アカデミー/材料連合フォーラム/日本工業教育協会

わが国の科学技術による国際貢献の声が広く国民に浸透していく中で、具体的に国富をどのような機関を対象に投入すべきかが問われるようになってきた。このような情勢の中、わが国の科学技術政策大綱を示す科学技術会議諮問第18号「新世紀に向けてとるべき科学技術の総合的基本政策について」が総理大臣へ答申された。その中で科学技術が経済発展の原動力であり、社会の諸問題を解決する手段であること、知的創造力を資源として立国するわが国は将来へ向けて、独創的な理論や技術を自ら構築する使命があること等の認識と、科学技術に対する夢と情熱を持った人材が多数輩出し、あらゆる分野で存分に活躍できることへの配慮が示されている。本シンポジウムはこれらの視点に焦点をあてて、広く重要性を産・学・官・政各界へ訴え、政策実現への結実を願って開催するものである。

プログラム

開会の辞 (13:00~13:10) 石川 六郎 (日本工学会会長)
 特別講演 (13:10~14:00)
 「国際貢献と科学技術」 中山 太郎 (前外務大臣・衆議院議員)
 講演 (I) (14:00~14:50) 座長 末松 安晴 (東京工業大学長・日本工学アカデミー政策委員長)
 「新世紀へ向けての大学の在り方」 西澤 潤一 (東北大学長・日本学術会議会員)
 講演 (II) (15:10~16:00) 座長 富浦 梓 (日本工学アカデミー理事)
 「産業界から大学へ期待するもの」 岡 久雄 (経済団体連合会産業技術委員会政策部会大学問題WG主査)
 講演 (III) (16:00~16:50) 座長 田中 郁三 (日本工学会副会長)
 「若者に理工学への夢と情熱を与えるために」 田丸 謙二 (日本学術会議化学研究連絡委員長)
 問題提起 (16:50~17:20)
 「大学の改革と学術法人活性化」 内田 盛也 (日本工学会政策委員長)
 閉会の辞 (17:20~17:30) 堀 幸夫 (日本工学会副会長)
 懇親会 (17:30~19:30)
参加費 1,000円 (懇親会費は別途申し受けます)
参加申込 往復はがきに氏名・勤務先・同住所・同電話番号・所属学協会名・会員番号を明記のうえ、返信はがき表に通信先住所・氏名を必ずご記入ください。(FAXでのお申込みは受付けません)
申込締切 平成4年9月末日必着
申込先 107 東京都港区赤坂 9-6-41 (社)日本工学会「10月シンポジウム」係宛 Tel. 03 (3475) 4621
参加証 参加証(返信はがき)を順次お送りいたしますので、当日ご持参ください。

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

国際会議

第2回 日本・ハンガリー合同セミナー —材料中の電磁現象と計算機解析技術 (053)

- 1992年9月16日(水)~18日(金)
- 北海道大学学术交流会館
- 北海道大学工学部電気工学科 川口 秀樹
Tel. 011 (716) 2111 (内 6487), FAX 011 (707) 9750
E-mail: Kawa@em.huee.hodukai.ac.jp

DARS '92—Int'l. Symposium on Distributed Autonomous Robotic Systems (*018)

- September 21-22, 1992
- RIKEN, Saitama, Japan
- Dr. Hajime Asama or Mr. Hayato Kaetsu
Chemical Eng. Lab.,
RIKEN (The Institute of Physical and Chemical Research), Hirosawa 2-1, Wako-shi, Saitama 351-01, Japan.
Tel. +81-48-462-1111 ext. 3144, FAX +81-48-462-4658, E-mail: asama@cel.riken.go.jp

JAPAN DISPLAY '92—第12回 ディスプレイ国際会議 (**022)

- 1992年10月12日(月)~14日(水)
- 広島国際会議場(広島市中区)
- 主催: The Society for Information Display, テレビジョン学会
問合せ先: 日本コンベンションサービス(株)「Japan Display '92」事務局 内田 龍男
Tel. 03 (3508) 1213, FAX 03 (3508) 0820
- 参加費: 会員 38,000円, 非会員 43,000円(9月15日まで)

ISS '92—XIV Int'l. Switching Symposium (*041)

- October 25-30, 1992
- Yokohama, Japan
- Secretariat, ISS '92, Japan Convention Services, Inc. Nippon Press Center Bldg., 2-2-1, Uchisaiwai-cho Chiyoda-ku, Tokyo 100 Japan
Telephone International +81 3 3508 1213, FAX International +81 3 3508 0820, Telex 2229025JCSJ

ISMCR '92—2nd Int'l. Symposium on Measurement and Control in Robotics (**057)

- November 15-19, 1992
- Tsukuba Science City, Japan
- Prof. Susumu Tachi (ISMCR '92 General Chairman)
c/o The Society of Instrument and Control Engineers (SICE)
1-35-28-303, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113 Japan
Phone +81-3-3814-4121, FAX +81-3-3814-4699, Telex 34486 SICEJ

PROTEXT VI—The 6th Int'l. Conf. on Digital Media Processing (054)

- December 16-18, 1992
- Colorado, USA
- PROTEXT SECRETARIAT
26 Temple Lane, Dublin 2, Ireland
Telefax (+353-1) 679-2469, Telephone (+353-1) 679 7655, Telex 30547 EI (Ref: Protexit)

ISEM-Sapporo: 電磁システムのシミュレーションと設計応用国際会議 (055)

- 1993年1月26日(火)~30日(土)
- 北海道厚生年金会館(札幌市)
- 北海道大学工学部電気工学科 本間 利久
Tel. 011 (716) 2111 (内 6485), FAX 011 (707) 9750
- 参加費: 一般 45,000円, 学生 5,000円

FUZZ-IEEE '93—2nd IEEE Int'l. Conf. on Fuzzy Systems (056)

- March 28-April 1, 1993
- San Francisco, California, USA
- 論文提出先 Dr. Piero P. Bonissone
General Electric CR&D, Building K-1, Room 5C32A
1 River Road, Schenectady, New York 12301
- 論文締切: 1992年9月21日

1993 IEEE Int'l. Symposium on Multiple-Valued Logic (057)

- 1993年5月24日~27日
- Sacramento, California (米国)
- 東北大学工学部情報工学科 亀山 充隆
Tel. 022 (222) 1800 (内 4298), FAX 022 (263) 9405
- 論文締切: 1992年11月1日

The 8th Scandinavian Conf. on Image Analysis (*036)

- May 25-28, 1993
- Norway
- Kjell Arild Høgdal
Forut Information Technology Ltd.
P. B. 2806 Elverhøy, N-9001 Tromsø, Norway
Phone +47 83 58 622, FAX +47 83 82 420
e-mail: scia@conan.uit.no
- The deadline for submission of papers: October 15, 1992

第7回 太平洋学術中間会議 (058)

- 1993年6月27日(日)~7月3日(土)
- 沖縄
- 琉球大学庶務部国際主幹室内 第7回太平洋学術中間会議事務局 Tel. 098 (895) 2221 (内 2126, 2027)

スーパーコンピュータ国際会議 (059)

1. 1993年7月19日(月)~23日(金)
2. 早稲田大学国際会議場
3. 主催: ACM Sigarch
問合せ先: 早稲田大学理工学部情報学科 村岡 洋一
Tel. FAX 03 (3200) 1681
E-mail: Muraoka@cfi.waseda.ac.jp

国内会議**Teleteaching '93** (060)

1. August 20-25, 1993
2. Trondheim, Norway
3. TeleTeaching '93
Kersti Larsen
Norwegian Computer Society
P. O. Box 6714 Rodeløkka, N-0503 Oslo, Norway
Tel. +47 2 37 02 13, FAX +47 2 35 46 69
E-mail: teleteach@avh.unit.no
or: Campus 2000: 01: YNP 018
4. Deadline of Contributions: October 10, 1992

IFIP WG 8.4 Working Conf. on The Open Systems Future: Leveraging the LAN (061)

1. August 29-September 2, 1993
2. Perth, Western Australia
3. IFIP WG 8.4 Conf.
School of Information Systems Curtin University
GPO Box U 1987, Perth 6001, Western Australia
FAX +61-9-351-3076, Phone +61-9-351-7691 (direct)
+61-9-351-7685 (secretary)
E-mail lanconf@BA1.curtin.edu.au

ESEC '93—4th European Software Engineering Conf. (062)

1. September 13-17, 1993
2. Garmisch, Germany
3. ESEC '93
Institut für Informatik Technische Universität München
Orleansstr. 34 D-8000 München 80, FRG
4. Paper due: November 23, 1992

ICDAR '93—第2回 文書図面メディアの認識・理解と高度利用に関する国際会議 (063)

1. 1993年10月20日(水)~22日(金)
2. 筑波研究学園都市・市民会館
3. 主催: 国際パターン認識協議会
論文送付先: 信州大学工学部情報工学科 中野 康明
Tel. 0262 (26) 4101 (内 3719), FAX 0262 (23) 1026
E-mail: icdar 93@wakasato.cs.shinshu-u.ac.jp
4. 論文締切: 1993年2月15日

コンピュータビジョン・アジア会議 (064)

1. 1993年11月23日(火)~25日(木)
2. 大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)
3. 主催: 電子情報通信学会
問合せ先: 大阪大学工学部電子制御機械工学科
白井 良明 Tel. 06 (877) 5111
4. 参加費: 一般 30,000円, 大学・国立研究所 20,000円

OR 学会第28回 シンポジウム「地球環境問題を探る」

1. 平成4年9月8日(火)
2. 工学院大学(東京・新宿)
3. (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
Tel. 03 (3815) 3351
4. 参加費: 正会員 2,000円, 学生会員 1,000円, 非会員 3,000円

第189回 講習会「次世代 CAD の必須アイテム、標準部品ライブラリー電子カタログの標準化を越えて」

1. 平成4年9月10日(木)
2. 東京工業大学百年記念館(目黒区大岡山)
3. (社)精密工学会
Tel. 03 (3362) 1979, FAX 03 (3367) 0994
4. 参加費: 会員 28,000円, 非会員 42,000円, 学生会員無料

第4回 テクニカルコミュニケーションシンポジウム

1. 平成4年9月10日(木)~11日(金)
2. 立教大学(東京都豊島区)
3. 主催: テクニカルコミュニケーター協会
問合せ先: 富士ゼロックス(株) DE 部
大谷 幸一
Tel. 03 (3342) 6415, FAX 03 (3342) 9456
4. 参加料: 会員 18,000円, 非会員 20,000円, 学生 3,000円

INS '92「OSI 相互接続実験 '92」

1. 平成4年9月16日(水)~19日(土)
2. 東京国際見本市会場
3. (財)情報処理相互運用技術協会 技術部
Tel. 03 (3358) 2721

平成4年度 AVIRG—SMC サマーセミナー「五感を探る」

1. 平成4年9月22日(火)
2. 早稲田大学(新宿区西早稲田)
3. 日本電気(株) C&C 情報研究所 パタン認識研究部
吉本 誠司 Tel. 044 (856) 2146, FAX 044 (856) 2236, E-mail: yoshi@pat.cl.nec.co.jp
4. 参加費: 一般 3,000円, 学生 1,000円

システム制御情報イーブニングスクールチュートリアル講座「フィードバック制御の基礎」

1. 1992年9月22日(火), 28日(月), 10月1日(木), 5日(月), 9日(金)
2. 大阪マーチャングダイズマートビル(大阪市中央区大手前)
3. システム制御情報学会 イーブニングスクール係
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
4. 聴講料: 会員 30,000円, 学生 20,000円, 非会員 40,000円

理研シンポジウム第13回「非接触計測と画像処理」(Sensing and Perception)

1. 1992年10月15日(木)
2. 理化学研究所(埼玉県・和光市)
3. 理化学研究所 情報科学研究室 出澤 正徳
Tel. 0484 (62) 1111 内 3252, FAX 0484 (62) 4651
4. 参加費: 無料

情報処理振興事業協会技術センター第11回 技術発表会

1. 平成4年10月21日(水)
2. 明治記念館(港区赤坂)
3. 情報処理振興事業協会 技術センター企画室
Tel. 03 (3437) 2301, FAX 03 (3437) 5386
4. 参加費: 6,000円

マイクロ化技術の最前線

1. 平成4年10月22日(木)~23日(金)
2. 中央大学駿河台記念館(千代田区神田駿河台)
3. (社)日本機械学会
Tel. 03 (3379) 6781, FAX 03 (3379) 0934
4. 聴講料: 会員20,000円, 会員外40,000円, 学生会員5,000円, 一般学生10,000円

第42回 科学講演会「自然科学の原点, 博物学について考える」

1. 平成4年10月26日(月)
2. 有楽町朝日ホール(千代田区)
3. (財)東レ科学振興会
Tel. 0473 (50) 6104, FAX 0473 (50) 6082
4. 入場無料

講習会「ビジネスにおけるファジィ戦略—評価支援に向けて—」

1. 平成4年11月30日(月)
2. 明治大学百周年記念館
3. 日本ファジィ学会事務局
Tel. 045 (212) 8253, FAX 045 (212) 8256
4. 参加費: 正会員15,000円, 学生会員7,000円, 非会員20,000円

第7回 流体制御シンポジウム

1. 平成4年12月7日(月)~8日(火)
2. 東北大学工学部青葉記念会館(仙台市青葉区)
3. (社)計測自動制御学会
Tel. 03 (3814) 4121, FAX 03 (3814) 4699
4. 講演申込締切: 平成4年9月22日(火)

第10回 流体計測シンポジウム

1. 平成4年12月17日(木)~18日(金)
2. 国立教育会館(千代田区霞が関)
3. (社)計測自動制御学会
Tel. 03 (3814) 4121, FAX 03 (3814) 4699
4. 講演申込締切: 平成4年9月25日(金)

第4回 ロボテックス・自動化システム, 第3回 ニューラルネットワーク合同シンポジウム

1. 平成5年3月18日(木)~19日(金)
2. 明治大学
3. (社)計測自動制御学会
Tel. 03 (3814) 4121, FAX 03 (3814) 4699
4. 一般講演申込締切: 平成4年11月30日(月)

会告

教官募集



○大学等情報関係教官募集

岩手県立宮古短期大学

- 募集人員 助教授または講師1名
 専門分野 経営情報関連科目(主としてソフトウェアの基礎, システム設計)を担当でき, 情報処理教育ができる者。
 応募資格 修士課程修了者もしくは, これと同等以上の研究業績及び学識経験を有する者で40歳以下が望ましい。
 提出書類 履歴書, 研究業績目録, 主要研究業績の現物またはコピー, 最終学校の修了・卒業証明書, 推薦状(可能ならば)。
 採用予定 平成5年4月1日
 応募締切 平成4年9月30日
 送付先 027 宮古市八木沢 4-8-6 岩手県立宮古短期大学 総務課
 問合せ先 Tel. 0193 (64) 2230~2232
 「教員応募書類在中」と朱書き書留。

茨城大学工学部情報工学科

- 募集人員 工学部情報工学科教授1名
 工学部情報工学科助手若干名
 専門分野 教授: プログラミング言語, 基本ソフトウェア
 助手: 情報工学一般
 応募資格 教授: 情報工学または関連分野での博士号を有する者。助手: 情報工学または関連分野での修士号を有するかまたは平成5年3月末日までに取得見込の者。
 着任時期 平成5年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷, 研究計画, 本人についての所見を求め得る方2名の氏名, 所属, 連絡先。
 応募締切 平成4年9月末日(ただし, 適当な応募がない場合は延長する。)
 送付先 316 日立市中成沢町 4-12-1
 茨城大学工学部情報工学科主任 高岡忠雄
 問合せ先 Tel. 0294 (35) 6101 (内 332),
 直通 0294 (34) 3254 (FAX 兼用)
 e-mail: takaoka@ibaraki.ac.jp

なお, 付近に日立製作所や原子力研究所があり, 協同研究等の機会も多く, 平成5年度より博士課程が設置される。

福岡工業大学工学部電子工学科

- 募集人員 教授1名
 担当科目 電子情報機器学(電子回路, 論理回路など)または情報処理工学(計算機工学, アセンブリ言語など)
 専門分野 電子・電気・情報工学・およびその関連分野。
 応募資格 上記の専門分野を専攻し, その分野の博士の学位

を有し、教育経験を有する 60 歳以上の者。
 着任時期 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績リストおよび主要論文の別刷
 応募締切 平成 4 年 9 月 30 日
 送付先 811-02 福岡市東区和白東 3-30-1
 福岡工業大学教務課長 石田隆男
 Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)
 FAX 092 (606) 8923
 問合せ先 福岡工業大学電子工学科
 教室主任 山下鹿喜智 (内 2358)
 FAX 092 (608) 5014

備考：大学院（修士課程・計画中）の研究指導も可能な者

三重大学教育学部情報教育課程

募集人員 助教授または講師 1 名
 専門分野 情報教育（情報ネットワーク、計算機工学、情報教育概論、電子計算機実習などを担当）
 応募資格 大学院修士課程修了以上で情報関連分野に関する業績を有し、27 歳から 42 歳までの者
 採用予定 平成 5 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 4 年 10 月 26 日
 問合せ先 514 津市上浜町 1515
 三重大学教育学部情報教育課程
 運営委員長 織田揮準
 Tel. 0592 (32) 1211 (内 3388, 3445)
 FAX 0592 (31) 3022

法政大学工学部経営工学科

募集人員 教授または助教授または専任講師 1 名
 専門分野 以下のいずれかに該当する方、①IE/生産管理、②IE/人間工学（工学系）、③情報工学。
 応募資格 博士号を有する 50 歳位までの者
 採用予定 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷
 応募締切 平成 4 年 10 月 15 日
 問合せ先 184 小金井市梶野町 3-7-2
 法政大学工学部経営工学科 若山邦紘
 Tel. 0423 (87) 6348 FAX 0423 (87) 6126

岩手大学工学部機械工学科

募集人員 教授 1 名
 所属講座 機械システム工学講座（数理情報研究室）
 専門分野 OR、生産管理、CAD、CAM、データ処理、図形処理、設計工学、制御工学等に関連する分野。
 応募資格 博士の学位を有し大学院担当教官にふさわしい公刊された研究業績を有する者。原則として、55 歳以上。
 採用予定 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績一覧、論文別刷（複写可）
 応募期限 平成 4 年 10 月 20 日
 送付先 020 盛岡市上田 4-3-5
 岩手大学工学部機械工学科主任教授 倉茂道夫
 問合せ先 Tel. 0196 (23) 5171
 (内 2325 選考主任 島地重幸)

九州工業大学情報工学部機械システム工学科

募集人員 助教授 1 名
 専門分野 情報科学（人工知能の機械工学への応用、ロボティクス等が望ましい）
 応募期限 平成 4 年 10 月 30 日
 問合せ先 九州工業大学情報工学部機械システム工学科主任
 豊田利夫 Tel. 0948 (29) 7768 (直) または
 安部憲広 Tel. 0948 (29) 7769 (直) (FAX 兼用)

富山大学工学部電子情報工学科

募集人員 助教授または講師若干名
 専門分野 数値解析、情報通信、知識情報処理
 応募資格 博士の学位を有し、研究業績のある者。年齢 40 歳以下が望ましい。

決定後なるべく早い時期
 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、可能ならば推薦書または応募者について問合せ可能な方の氏名・所属・連絡先（1～2 名）
 平成 4 年 10 月 30 日
 930 富山市五福 3190
 富山大学工学部電子情報工学科 村井忠邦
 Tel. 0764 (41) 1271 (内 2740)
 「応募書類在中」と朱書きし、書留。

福井大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 2 名
 所属 ①計算機システム講座 1 名
 ②情報システム講座 1 名
 専門分野 ①ソフトウェア技術、計算機システムなどの関連分野。②応用ソフトウェア、人工知能などの関連分野。
 応募資格 ①年齢が 40 歳位までの者。②博士の学位を有し、情報科学の分野で研究実績がある者。講師の場合には近々博士号取得が確実な者でもよい。
 着任時期 決定後、なるべく速やかに。
 提出書類 履歴書、なお、応募講座を欄外に記入されたい。研究業績目録、主要論文別刷、これまでの簡単な研究経過、上記専門分野における研究計画。
 応募締切 平成 4 年 10 月 31 日（適任者が決定次第締め切ることある）
 送付先 910 福井市文京 3 丁目 9 番 1 号
 福井大学工学部情報工学科主任 浅田勝彦
 Tel. 0776 (23) 0500 (内 2881) または
 0776 (27) 8577 (ダイヤルイン)
 「情報工学科教官応募書類在中」と朱書きし、書留。

信州大学経済学部

募集人員 助教授、または講師 1 名
 担当 ①情報処理教育の基礎から応用。基礎：パソコンを使った情報処理入門、応用：プログラミング言語、通信等全般にわたっての情報処理教育。②ワークステーション、ネットワークの管理等研究体制の整備。
 応募資格 教職歴は問いません。これまでの職務内容や業績が社会科学に関連している必要は特にありません。35 歳まで（平成 5 年 4 月 1 日現在）
 採用予定 平成 5 年 4 月 1 日（採用時期の調整は可能）
 提出書類 履歴書、これまでの研究活動あるいは職務内容についての簡単な紹介、その他審査の対象となる資料があれば主要な 5 点まで提出（コピー可）
 応募締切 平成 4 年 10 月 31 日
 送付先 390 松本市旭 3-1-1
 信州大学経済学部長
 「情報処理教官応募書類在中」と朱書きし、書留。
 信州大学経済学部情報解析委員会
 問合せ先 Tel. 0263 (35) 4600 (内 3354, 3332)
 FAX 0263 (36) 7220

立命館大学理工学部電気電子工学科

募集人員 (A) 教授 1 名。(B) 助教授または教授 1 名。
 専門分野 (A) 電気機器関連分野（回転機、ドライブシステム関係が望ましい）。(B) 計算機関連分野（ハードウェアまたはネットワーク関係が望ましい）
 応募資格 (A) 年齢 55 歳位までで、博士の学位を有する者。(B) 年齢 40 歳位までで、博士の学位を有する者。
 着任時期 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、業績リスト（論文、著書、学会講演、その他に分けて記入）、主要論文別刷、健康診断書、研究、教育に対する抱負について記してください。形式は指定しません。
 応募締切 平成 4 年 10 月 31 日

送付先 603 京都市北区等持院北町 56-1
 問合せ先 立命館大学理工学部電気電子工学科
 学科主任 三木秀二郎
 Tel. 075 (465) 1111 (内 3736)
 FAX 075 (465) 8238

稚内北星学園短期大学

募集人員 教授、助教授または講師 1名
 応募資格 UNIX での情報教育が可能な者。
 採用予定 平成 5 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 4 年 10 月 31 日
 提出書類 履歴書、研究業績一覧表、ただし、a. 著書(訳書も含む)および発表論文の別刷またはコピーを添えてください。b. ソフトウェア開発や情報教育に関する上記(a)以外の業績があればその概要をまとめてください、情報教育に関する抱負(1500 字程度)。

送付先 097 稚内市若葉台 稚内北星学園短期大学
 問合せ先 学長 木村謙二
 「教員応募書類在中」と朱書きし、書留。
 なお、照会事項等がありましたら、本学経営情報

学科長 丸山不二夫まで。
 Tel. 0162 (32) 7511 (代) FAX 0162 (32) 7500

福岡工業大学電子機械工学科

募集人員 助教授 1 名
 所属 電子機械工学科
 担当科目 電子機械デバイス工学または自動化システム工学(アナログ回路、パワーエレクトロニクス、計測・制御関連科目)
 専門分野 電気・電子工学に関連した分野。
 応募資格 電気・電子などの工学分野において業績があり工学博士の学位を有する、36 歳以下の者。
 着任時期 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績リストおよび主要論文の別刷。
 応募締切 平成 4 年 11 月 30 日
 送付先 811-02 福岡市東区和白東 3-30-1
 福岡工業大学教務課長 石田隆男
 Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)
 FAX 092 (606) 8923
 問合せ先 福岡工業大学電子機械工学科教室主任
 後藤穂積 (内 2314)
 備考: 大学院(計画中)の研究指導も可能な者。

雑報



をそれぞれ贈る。出版対象は昭和 64 年 1 月 1 日以降に発刊された図書とする。

推薦方法 所定の大川賞または大川出版賞候補推薦書に必要な事項を記入のうえ、下記あてに送ってください。
推薦締切 平成 4 年 9 月 14 日(月) 消印有効
問合せ先 107 港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 31 階
推薦用紙 (財)大川情報通信基金「大川賞」または「大川出版賞」事務局
請求先 Tel. 03 (3505) 6048 岩田、前川

○第 39 回(平成 4 年度)大河内賞受賞候補者募集

個人または 5 名以内のグループを対象
大河内記念賞 生産工学上優れた独創的研究成果をあげ、公表された論文または学術上価値ある発表により、学術の進歩に多大の貢献をした業績
大河内記念技術賞 生産工学、生産技術の研究により得られた優れた発明または考案に基づく産業上の顕著な業績
事業体を対象
大河内記念生産特賞 生産工学上の優れた独創的研究によりあげられた産業上の特に顕著な業績
大河内記念生産賞 生産工学、高度生産方式等の研究により得られた優れた発明または考案に基づく産業上の顕著な業績
推薦締切 平成 4 年 9 月 30 日
問合せ先 105 港区虎ノ門 1-17-1 第 5 森ビル
 (財)大河内記念会 Tel. 03 (3501) 2856

○財団法人神奈川科学技術アカデミー平成 4 年度

研究集会開催助成募集案内(国内研究集会—後期)

助成対象 平成 4 年 10 月 1 日から平成 5 年 3 月 31 日までに、神奈川県内で開催される科学技術に関する学術的な国内研究集会とします。国際研究集会については今回は対象としません。
助成金額 1 件当たりの助成金額は 100 万円以内とします。なお、採択件数は 3 件程度とします。
応募締切 平成 4 年 8 月 31 日
問合せ先 213 川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟 6 F
申請用紙 (財)神奈川科学技術アカデミー 学術交流部交流普及科
請求先 Tel. 044 (819) 2032 FAX 044 (819) 2026

○大川賞および大川出版賞推薦のお願いについて

(財)大川情報通信基金(理事長・大川 功 CSK 社長)は設立 5 周年を記念し、情報通信分野で功績のあった研究や事業を表彰する「大川賞」と同分野の図書を表彰する「大川出版賞」を創設した。
 大川賞は年間 1 件を対象として、個人を表彰する。受賞者には賞状と副賞として金メダルと賞金 1 千万円を贈る。
 大川出版賞は年間 3 件程度を対象として、著者には賞状と副賞として銀メダルと賞金百万円を、また出版社には賞状と賞牌

○(財)京都高度技術研究所研究者募集

募集人員 若干名
 職種 ①研究企画職 ②研究職
 職務内容 ①は研究・開発プロジェクトの企画・管理・渉外業務、プロジェクトのマネジメント、②はソフトウェア分野、メカトロニクス分野、マイクロエレクトロニクス分野の研究・開発業務
 応募資格 ①は大学卒 35 歳位まで、②は修士または同等以上 32 歳位まで

採用予定
待遇
提出書類
随時
当財団規定により厚遇する。
①は履歴書(詳細な職歴、写真添付)、業績リスト
(新卒見込みの人は卒業論文または修士論文の概要
2頁位)を郵送のこと。②は履歴書のほか業績リ
スト(新卒見込みの人は修士論文の概要2頁位)を
郵送のこと。
送付先
問合せ先
600 京都市下京区中堂寺南町 17 京都リサーチ
パーク (財)京都高度技術研究所
Tel. 075 (315) 8651 担当 小林 博

編集室



会員の声

- 目次「解説」記事に、2～3行の概要が添えられているのは、大変読者にとってありがたいと思います。今後とも解説記事の分かりやすい取扱いを望みます。

(NTTデータ通信(株) 板倉征男)

情報処理学会事務局組織図

平成4年6月1日

